(仮称) 長田・新居小学校建設工事（建築主体工事）

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
Ａ－０１	建築工事特記仕様書１	Ａ－５１	階段Ｂ　詳細図	Ａ－１０１	家具詳細図（１０）	Ｓ－０１	構造特記仕様書
Ａ－０２	建築工事特記仕様書２	Ａ－５２	１階　天井伏図	Ａ－１０２	家具詳細図（１１）	Ｓ－０２	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
Ａ－０３	建築工事特記仕様書３	Ａ－５３	２階　天井伏図	Ａ－１０３	家具詳細図（１２）	Ｓ－０３	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
Ａ－０４	建築工事特記仕様書４	Ａ－５４	３階　天井伏図	Ａ－１０４	家具詳細図（１３）	Ｓ－０４	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)
Ａ－０５	工事区分表	Ａ－５５	１階　展開図１	Ａ－１０５	家具詳細図（１４）	Ｓ－０５	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(4)
Ａ－０６	概要書+案内図	Ａ－５６	１階　展開図２	Ａ－１０６	家具詳細図（１５）	Ｓ－０６	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(5)
Ａ－０７	資材搬入経路・仮設計画図	Ａ－５７	１階　展開図３	Ａ－１０７	家具詳細図（１６）	Ｓ－０７	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(6)
Ａ－０８	タワークレーン参考図	Ａ－５８	１階　展開図４	Ａ－１０８	家具詳細図（１７）	Ｓ－０８	ボーリング柱状図
Ａ－０９	配置図	Ａ－５９	１階　展開図５	Ａ－１０９	エレベーター詳細図（１）	Ｓ－０９	杭伏図
Ａ－１０	敷地面積表	Ａ－６０	１階　展開図６　　２階　展開図１	Ａ－１１０	エレベーター詳細図（２）	Ｓ－１０	基礎伏図
Ａ－１１	建物求積図	Ａ－６１	２階　展開図２	Ａ－１１１	エレベーター詳細図（３）	Ｓ－１１	基礎詳細図（１）
Ａ－１２	仕上表１	Ａ－６２	２階　展開図３	Ａ－１１２	エレベーター詳細図（４）	Ｓ－１２	基礎詳細図（２）
Ａ－１３	仕上表２	Ａ－６３	２階　展開図４	Ａ－１１３	エレベーター詳細図（５）	Ｓ－１３	基礎梁リスト
Ａ－１４	法規チェック図１	Ａ－６４	２階　展開図５	Ａ－１１４	垂直式　救助袋詳細図	Ｓ－１４	1階壁2層梁伏図
Ａ－１５	法規チェック図２	Ａ－６５	２階　展開図６	Ａ－１１５	外構図	Ｓ－１５	2階壁3層梁伏図
Ａ－１６	ピット階　平面図	Ａ－６６	３階　展開図１	Ａ－１１６	既存WC付倉庫解体撤去建物	Ｓ－１６	3階壁R層梁伏図
Ａ－１７	１階　平面図	Ａ－６７	３階　展開図２	Ａ－１１７	WC付倉庫図	Ｓ－１７	大梁リスト(1)
Ａ－１８	２階　平面図	Ａ－６８	３階　展開図３	Ａ－１１８	渡り廊下、自転車置場棟	Ｓ－１８	大梁リスト(2)
Ａ－１９	３階　平面図	Ａ－６９	３階　展開図４	Ａ－１１９	既設　屋内運動場　平面図	Ｓ－１９	柱リスト
Ａ－２０	R階　平面図	Ａ－７０	３階　展開図５	Ａ－１２０		Ｓ－２０	小梁・片持梁・壁梁リスト
Ａ－２１	立面図	Ａ－７１	１階　建具表	Ａ－１２１		Ｓ－２１	壁・スラブリスト
Ａ－２２	断面図	Ａ－７２	２階　建具表	Ａ－１２２		Ｓ－２２	軸組図（１）
Ａ－２３	断面詳細図１	Ａ－７３	３階　建具表	Ａ－１２３		Ｓ－２３	軸組図（２）
Ａ－２４	断面詳細図２	Ａ－７４	R階　建具表	Ａ－１２４		Ｓ－２４	軸組図（３）
Ａ－２５	断面詳細図３	Ａ－７５	鋼製建具リスト１	Ａ－１２５		Ｓ－２５	軸組図（４）
Ａ－２６	断面詳細図４	Ａ－７６	鋼製建具リスト２	Ａ－１２６		Ｓ－２６	架構図（１）
Ａ－２７	断面詳細図５	Ａ－７７	鋼製建具リスト３	Ａ－１２７		Ｓ－２７	架構図（２）
Ａ－２８	雑詳細図１	Ａ－７８	鋼製建具リスト４	Ａ－１２８		Ｓ－２８	雑配筋図(1)
Ａ－２９	雑詳細図２	Ａ－７９	鋼製建具リスト５	Ａ－１２９		Ｓ－２９	雑配筋図(2)
Ａ－３０	雑詳細図３	Ａ－８０	木製建具リスト１	Ａ－１３０		Ｓ－３０	雑配筋図(3)
Ａ－３１	雑詳細図４	Ａ－８１	黒板・白板・掲示板リスト　平面配置図１	Ａ－１３１		Ｓ－３１	【渡り廊下棟】 構造図
Ａ－３２	雑詳細図５	Ａ－８２	黒板・白板・掲示板リスト　平面配置図２	Ａ－１３２		Ｓ－３２	【倉庫棟】 構造図(1)
Ａ－３３	１階　平面詳細図１/6	Ａ－８３	黒板・白板・掲示板リスト　平面配置図３	Ａ－１３３		Ｓ－３３	【倉庫棟】 構造図(2)
Ａ－３４	１階　平面詳細図２/6	Ａ－８４	黒板詳細図１	Ａ－１３４			
Ａ－３５	１階　平面詳細図３/6	Ａ－８５	黒板詳細図２	Ａ－１３５			
Ａ－３６	１階　平面詳細図４/6	Ａ－８６	黒板詳細図３	Ａ－１３６			
Ａ－３７	１階　平面詳細図５/6	Ａ－８７	黒板詳細図４	Ａ－１３７			
Ａ－３８	１階　平面詳細図６/6	Ａ－８８	サインリスト　平面配置図	Ａ－１３８			
Ａ－３９	２階　平面詳細図１/6	Ａ－８９	１階　家具キープラン	Ａ－１３９			
Ａ－４０	２階　平面詳細図２/6	Ａ－９０	２階　家具キープラン	Ａ－１４０			
Ａ－４１	２階　平面詳細図３/6	Ａ－９１	３階　家具キープラン	Ａ－１４１			
Ａ－４２	２階　平面詳細図４/6	Ａ－９２	家具詳細図（１）	Ａ－１４２			
Ａ－４３	２階　平面詳細図５/6	Ａ－９３	家具詳細図（２）	Ａ－１４３			
Ａ－４４	２階　平面詳細図６/6	Ａ－９４	家具詳細図（３）	Ａ－１４４			
Ａ－４５	３階　平面詳細図１/5	Ａ－９５	家具詳細図（４）	Ａ－１４５			
Ａ－４６	３階　平面詳細図２/5	Ａ－９６	家具詳細図（５）	Ａ－１４６			
Ａ－４７	３階　平面詳細図３/5	Ａ－９７	家具詳細図（６）	Ａ－１４７			
Ａ－４８	３階　平面詳細図４/5	Ａ－９８	家具詳細図（７）	Ａ－１４８			
Ａ－４９	３階　平面詳細図５/5	Ａ－９９	家具詳細図（８）	Ａ－１４９			
Ａ－５０	階段Ａ　詳細図	Ａ－１００	家具詳細図（９）	Ａ－１５０			

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)					図面リスト	2017.06		
ORIGINAL NO								

建築工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1．工事名称　(仮称)長田・新居小学校　建設工事（建築主体工事）

2．工事場所　三重県伊賀市西高倉３１４６番地

3．工事種目　・ 新築　(・) 増築　・ 改築　(・) その他（解体工事）

4．面積　敷地面積　11,896.82 ㎡　建築面積　1,439.76 ㎡　延床面積　3,387.99 ㎡

5．建物高さ　軒高　GL ＋14,277

6．階数　地上　3　階　地下　0　階　塔屋　階 0

7．構造・地業　構造：　ＲＣ造　地業：　ＰＨＣ杭

8．工事期間　着工　平成　29年　月　日　竣工　平成　30年　10月　31日

9．工事範囲　・建築本体工事　・外構工事

10．別途工事

11．その他の特記事項

Ⅱ 建築工事仕様

1．共通仕様　（１）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事　標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)[平成28年6月一部改定]」(以下「標仕」というただし、標準仕様書に記載されていない事項は「公共建築改修工事標準仕様書(平成25年版)[平成26年3月改定]」(以下「改修標仕」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。　尚、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。

（２）標仕に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任において履行すべきものとする。

（３）用語の「監督職員」とは、工事請負契約書（以下「契約書」という。）に規定する監督職員、監督員又は監督官をいう。

（４）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は　公共建築工事標準仕様書（平成　22年版）の電気設備工事編、機械設備工事編を適用する。

2．特記仕様　（１）項目は、番号に　◯印のついたものを適用する。

（２）特記事項は、(・)印の付いたものを適用する。　(・)印の付かない場合は、　※印のついたものを適用する。

（３）特記事項に記載の（　.　.　）内の表示番号は、標仕の当該項目又は当該表を示す。

（４）メーカー名は、「株式会社」等の記載は省略する。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	① 適用基準等	(・) 建築工事標準詳細図　（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修平成　28 年版） (・) 数地調査共通仕様書（平成２７年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） (・) 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・
	② 設計図書の優先順位	※ 図面及び仕様書の内容に相違ある時は下記の優先順位により判断し、監督職員と順位を協議の上決定する。 優先順位 1）質疑回答書　2）図面　3）特記仕様書 4）各種標準図　5）標仕
	③ 品質計画	※建築基準法に基づき定められる風圧区分等の適用工事 1.2.2）（ ・８章　・　９章　・１０章　・１３章　・１４章　・　１６章　・　１７章 ・ 風速　（Ｖｏ＝ 34 ）　建告示第 1454　号　及び　建告示　1458　号 (・) 地表面粗度区分（・ Ⅰ　(・) Ⅱ　・ Ⅲ　・ Ⅳ ）建告示第1454号 (・) 積雪区分　伊賀市条例 40ｃｍ　・建告 1455　号別表（　　） ・ 凍結深度（　　ｃｍ　）
	施工計画書及び報告書の提出	(・) 品質管理計画書 (・) 総合施工計画書　(・) 仮設工事施工計画書　・ 土工事施工計画書 (・) 地業工事施工計画書　(・) 鉄筋工事施工計画書　(・) ｺﾝｸﾘｰﾄ 工事施工計画書 (・) 鉄骨工事施工計画書　・(・) ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ､ALCﾊﾟﾈﾙ、　押出成形 ｾﾒﾝﾄ板工事施工計画書 (・) 防水工事施工計画書　・ 石工事施工計画書　(・) ﾀｲﾙ 工事施工計画書 (・) 木工事施工計画書　(・) 屋根及びとい工事施工計画書　・ 金属工事施工計画書 (・) 左官工事施工計画書　・ 建具工事施工計画書　・　・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ 工事施工計画書 (・) 塗装工事施工計画書　・ 内装工事施工計画書　・排水工事施工計画書 (・) ﾕﾆｯﾄ及びその他の工事施工計画書 (・) 舗装工事施工計画書　(・) その他監督職員の指示するもの
	4 電気保安技術者	・ 適用する　(1.3.3)
	⑤ 技能士	・ 適用しない　(◯) 適用する（監督職員との協議による）　(1.5.2)
	⑥ 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。　(1.4.1 ～ 2)
	⑦ 化学物質の濃度測定	測定対象化学物質（●で示したものとする。）　(1.5.9)

適用	施設用途	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ
◯	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定個所数（・ 図示　(・) 各居室
（職員室・事務室…２箇所、多目的室…２箇所、保健室…２箇所、普通教室１…２箇所、図書室…２箇所、家庭科室…２箇所　合計12箇所）
測定方法（※　パッシブ法　・　アクティブ法）
報告書提出部数　２部

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	⑧ 特別な材料の工法	特記仕様書及び標仕に記載していない材料及び工法等の仕様については当該業者の仕様による責任施工（合法、安全、機能、品質等が確保されること）とする。
	⑨ 発生材の処理等	※　関連法令、行政指導等を遵守し、適正処理をすること。　(1.3.11) 受注者は、解体材、工事発生残材の分別保管に努め発生材のうち再生資源として利用できるものは、再生資源化施設へ搬入処理に努めること。その他のものは中間処理又は最終処理施設に搬入処理のこと。受注者は収集運搬及び処分を委託する場合は、三者契約を締結し事前に許可証の写しを監督職員に提出すること。尚、収集運搬及び処分は受注者の責任においてマニュフェストシステムにより適正に行うこと。
	⑩ 設計図書の取扱い	著作権に係わる施工図を作成するための設計図書データの貸出は監督職員の承認を受ける。　(1.1.6)
	⑪ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は発注者に帰属するものとする。　(1.2.3)
	⑫ 総合図の作成	各工事の着工に先立ち空調吹出・照明器具・設備機器の位置・取合い等の記入された総合図（施工図）を作成する。
	⑬ 完成図等	※ 作成する　(1.7.1 ～３）（表1.7.1 ） (1) ※ 完成原図　原図変更箇所をすべて訂正する　((・) 原図　(・) ＣＡＤ）ﾃﾞｰﾀ 1 式 電子データの形式は監督職員の指示による (2) (・) 縮小原図　（Ａ３判）　1 部 (3) ・ マイクロフィルム（設計図一式）　（アパッチャーカード方式）　・　部 (4) ※ 製本図面　(・) 仕上りＡ４版－Ａ３サイズ２つ折り製本（縮小図）　2 部 (・) 仕上りＡ３版－Ａ２サイズ２つ折り製本黒表紙、銀文字入り　2 部 (5) (・) 保全に関する資料の部数　2 部 (6) (・) 施工図 (・) 構造躯体 (・) 仕上げ (・) その他監督職員の指示するもの）　1 部 (7) ・ その他　部
	⑭ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	部数	原板の大きさ (mm)
(・) カラー ※ キャビネ版	外部（ 4 ）内部（40）	※ 2　・	※ 100　×125　以上
・カラーパネル（木製）	外部（　）内部（　）	※ 2　・	・　版
・カラースライド	外部（　）内部（　）	・ 1　・	※ 24　× 36　以上
・ポジティブ	外部（　）内部（　）	・　・	4 ×5インチ
(・) 電子データ ﾀﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ)	外部（　）内部（　）	※ 2　・	※ 800　万画素以上
・	外部（　）内部（　）	・　・	

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員に予めベタ焼を提出し確認を受ける。
電子データの形式は監督職員の指示による
※アルバムを作成する　※銀文字製本アルバム（２部）　・アルバム（　部）
撮影業者　・ 建築完成写真　撮影の実績ある業者で下記による。
※監督職員の承諾　・ 指定（　　）

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	⑮ 設計ＧＬ	※図示　・設計ＧＬ＝ 現状 BM（図示）＋（ ３０００ ）　(2.2.2)
	⑯ 統括安全衛生責任者の指名	※本工事に別途工事がある場合、労働安全衛生法の定めにより、本工事受注者を総括安全衛生責任者に指名する。 受注者は本契約後直ちに「統括安全衛生管理者適任届出（任意様式）」を提出すること。
	⑰ 工程報告及び工事写真	※工事施工報告書（工事進捗状況写真を含む）を、監督職員に毎月　回（　部)1提出する。 ※建築材料等の納入伝票類、施工写真を、監督職員の指示により提出する。
	⑱ 保証書	※次の工事は何れも責任施工とし、受注者と施工者及び材料製造所の三者連帯保証書を　2　通提出する。保証開始日は建物引渡しの日からとする。

工事区分	材 料	保証年数	備　考
屋根工事	・ 金属板等の屋根	・ 5 年　・ 10 年	
	・	・　年　・　年	
防水工事	・ アスファルト防水	※ 10 年　・　年	
	(・) 合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ防水	(・) 10 年　・　年	
	(・) 塗膜防水（保護）	(・) 5 年　・　年	
	(・) 弾性シーリング	(・) 5 年　・　年	
	・	・　年　・　年	
外装工事	(・) 防水型複層仕上塗材（吹付）	(・) 10 年　・　年	
	・	・　年　・　年	
特殊床工事	・	※ 3 年　・　年	
	・	・　年　・　年	
その他	・	・　年　・　年	
	・	・　年　・　年	
植栽工事	・	※ 1 年　・　年	
	・	・　年　・　年	

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	19 模型類の作成	※作成しない　・ 現場説明事項書による
	⑳ その他	工事用看板　※ 監督職員の指示による 分離発注工事　※ 分離発注工事が有る場合は総合的に工程・取合等の調整を行う事 ※　北側（ＪＲ線路沿いフェンス取替工事施工時に、ＪＲ指定業者の保安体制が必要
	㉑ 建設副産物情報交換システムの利用	※受注者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出する。 また、工事完了後にはJACIC（（財）日本建設情報総合センター）が運用する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行うこと。
	㉒ 三重県産業廃棄物税	※本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月３１日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

章	項　目	特　記　事　項
	㉓ 工事実績情報の登録等	(1.1.4) (・) 受注者は受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注、変更及び完成時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後１０日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から１０日以内に、完成時は工事完成後１０日以内に登録機関に登録申請しなければならない。 また（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。 ただし、変更時と完成時の間が１０日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。 (・) 受注者は、下請負(再下請を含む)に付する場合は、部分下請通知書を監督員に提出しなければならない。 (・) 受注者は、工事を施工するために締結した下請契約(再下請を含む)の施工体制台帳を作成し、工事現場に備えると共に、別に定める様式によると共に、別に定める様式により監督員に提出しなければならない。 (・) 受注者は、各下請者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所に掲げなければならない。また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により提出しなければならない。
	㉔ 養生その他	(・) 工事施工に際し既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共既存にならい補修する。
	㉕ 事故報告	(・) 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。

章	項　目	特　記　事　項
2 仮設工事	① 受注者事務所	※ 設ける　・ 設けない　(2.3.1) 受注者事務所の規模　（ ㎡ ） ・ 10　・25程度　・35　(・) 65　・100　程度 監督職員事務所の備品等　・　適用する（監督職員の指示による）
	② 工事用水	構内既存の施設　※　利用できない　(・) 利用できる (・) 有償・　無償）（2.3.1 ）
	③ 工事用電力	構内既存の施設　(・) 利用できない　・ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償）（2.3.1 ）
	④ 仮設物撤去その他	※ 仮設物の撤去及び建物引渡しまでの工事用電気、水道、ガス等の料金（基本料金を含む）は請負者の負担とする。　(2.4.1)
	⑤ 仮囲い	高さ　(・) Ｈ＝３ｍ　・ Ｈ＝１．８ｍ　(・) Ｈ＝ 2.0m 仕様　(・) ﾒｯｼｭｼｰﾄ　(・) 防音ｼｰﾄ　・ ガードフェンス(◯)　・ 成形鋼板（目隠し型）
	6 指定仮設	・ 無し　・ 有り（　　）
3 土工事	① 埋戻し及び盛土	・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種　(3.2.3 ）（表 3.2. 1)
	② 建設発生土の処理	・　(3.2.5)
	③ 山止め	(・) 構外搬出適切処理　・ 構内指示の場所にたい積　・ 構内指示の場所に敷き均し (・) 撤去　・ 存置（　　）　(3.3.3)
4 地業工事	※ 地業工事	（この章特記なき限り構造特記仕様書による　）
	① 床下防湿層	施工箇所　(4.6.5) (・) 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (・) ポリエチレンフィルム厚さ　0.15mm　（　　）
	② 接地部分の断熱材（特定フロンを使用しないもの）	(・) ポリスチレンフォーム保温材　J1SA9511　規格品 3 種 b　(・) 厚さ（ 30 ）mm ・ 厚さ（ 50 ）mm ・ 木繊セメント板　厚さ　50　（床下防湿　ｼｰﾄ　なし）
5 鉄筋工事	※ 鉄筋工事	（この章特記なき限り構造特記仕様書による　）
	① 既製 ｺﾝｸﾘｰﾄ 杭の杭頭補強	・ Ａ形　・　Ｂ形　※ 図示　・　(Ｓ-12　杭頭補強配筋図)
	② 帯筋	※ Ｈ型（口は除く）
	③ 最上階柱頭補強	※ 行う　・　行わない
	④ 梁貫通孔の補強形式	※ Ｈ形　・ ＭＨ形　・ Ｍ形　(・) 既製品
6 コンクリート工事	※ コンクリート工事	（この章特記なき限り構造特記仕様書による　）
	① ﾚﾃﾞｨﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	※ Ⅰ類　・ Ⅱ類　(表 6.2.1)
	② 打放し仕上げの種別	・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　(表 6.2.4)
	③ 骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分　（ 6.3.1 ）（ 6.5.4 ） ※ Ａ　・ Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量Rt=30N/㎡以下）
	④ 型 枠（せき板）の種別	(・) 普通合板型枠　(6.8.3) (・) 打放し合板型枠　(・) 特殊合板型枠
	5 コンクリート躯体表面の処理	外装タイル　後張り面の躯体表面の処理 MCR　工法は、せき板面に　MCR　工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面は凹凸状態とする。 高圧水洗工法の目荒しは、水圧50Ｎ/?　以上かつ、2.5分/㎡　以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督員に承諾をうける。 コンクリートの増打ち厚さ　・ 20mm　・ 図示 施工箇所　※　図示　・
	6 断熱材兼用型 枠	運用及び適用箇所について　----　１９章内装工事　14　断熱材による
	7 その他	※ パラペット立上がりコンクリートは原則として一体打ちとする。
7 鉄骨工事	※ 鉄骨工事	（この章特記なき限り構造特記仕様書による　）
	1 施工管理技術者	※ 適用する　(7.1.4) (7.9.2　～６)
	2 耐火被覆	種別 ・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り　・ 耐火材吹付け（・ ﾛｯｸｳｰﾙ（・ 乾式 ・半乾式 ・湿式）） ・ 耐火板張り　・ 図示 所要性能（区分）　・30分耐火（　　）　・１時間耐火（　　） ・２時間耐火（　　）　・３時間耐火（　　）

建築基準法に基づく主要構造部の耐火時間　（7.9.2 ～６）

部位 / 階	耐火構造の耐火時間（時間） 壁 間仕切 壁（耐力壁に限る）	壁 外壁（耐力壁に限る）	柱	床	梁	屋根	階段
・1 階 ～ 2 階	1	1	1	1	1	0.5	0.5
・　階 ～　階	2	2	2	2	2	0.5	0.5
・　階 ～　階	2	2	3	2	3	0.5	0.5

章	項　目	特　記　事　項
7 鉄骨工事	③ アンカーボルトの保持及び埋込み工法	・ 構造用アンカーボルト　（ ・　）（ 7.10.3 ）（表 7.10.1 ） ・ 建方用アンカーボルト　（ ・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種 ）
	4 柱底均しモルタル工法	※ Ａ種　・　Ｂ種　（ 7.2.9 ）（ 7.10.3 ）（表 7.10.2 ） 無収縮モルタルのメーカー　性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。
	⑤ 溶融亜鉛めっき	亜鉛めっきの種別　・Ａ種　(・) Ｂ種　・Ｃ種　（ 7.12.3 ） 素地ごしらえは、 JIS H 9124 溶融亜鉛めっき作業標準による。　（表 14.2.2 ） 摩擦面の処理　・ ブラスト処理　・ リン酸塩処理

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)					建築工事特記仕様書１	2017.06		Ａ－０１
ORIGINAL NO								

章	項　目	特　記　事　項

(8) コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

(1) 建築用コンクリートブロック

補強コンクリートブロック造　※ 空洞 ﾌﾞﾛｯｸ16 ・ 空洞 ﾌﾞﾛｯｸ16-W　(8.2.2)
帳壁及び塀　※ 表 8.3.1 及び下表による　(8.3.2)

適用箇所	厚さ（mm）	種別の記号
(・) 間仕切壁 .地下二重壁 .外壁 .塀	図示	空洞ブロック 16
(・) 設備配管用ブロック積み	100	空洞ブロック 08

2 ＡＬＣパネル

（8.4.2～6）（表 8.4.3～4）

種　類	単位荷量（N／㎡）	厚さ（mm）	取付け工法（種別）
・外壁パネル（柱巻き）	・1180 ・1960 ・2160	※100 ・150 ・50	・A 種 ・B 種 ※C 種 ・図示
・間仕切壁 ﾊﾟﾈﾙ	・ 680 ・	※100 ・150 ・	・B種 ・C種 ・D 種※E 種・図示
・屋根パネル	・ 980 ・	※100 ・150 ・	※標仕 8.4.6 による
・床パネル	・2350 ・3530	・100 ・150 ・	

・ 床パネルの耐火性能（・１時間　・　２時間　）

3 押出成形セメント板

性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

厚さ　※ 50mm以上
種　類　※ 無石綿タイプ　(8.5.2～5)（表8.5.1～2）

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	工法	耐火性能
・ 外壁	※ フラットパネル	・50 ・60 ・	・ A種	※ 有り
	・ デザインパネル（図示）	・50 ・60 ・	・ B種	（　　）
	・ タイルベースパネル	・60 ・15 ・		・ 無し
・ 間仕切	※ フラットパネル	・50 ・60 ・	・ B種	※ 無し
	・ デザインパネル（図示）	・50 ・60 ・	・ C種	・ 有り
	・ タイルベースパネル	・60 ・　・		（　　）

厚さ　・ 50mm未満
種　類　※ 無石綿タイプ　(8.5.2～5)（表8.5.1～2）

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	耐火性能
外壁(渡り廊下)	※ フラットパネル・ ・ デザインパネル（図示）	・15 ・ ・　・	※ 無し ・ 有り (FP060NE-9234)

(9) 防水工事

(1) アスファルト防水

(9.2.3～9)（表 9.2.3～8）

種　別	施　工　箇　所
・A-1 ・A-2	
・AI-1 ・AI-2	
・B-1 ・B-2	
・BI-1 ・BI-2	
・D-1 ・D-2	
・E-1 (・)E-2	便所
・	

(・)アスファルト防水　※ ３種（一般地域）・４種（寒冷地域）　(9.2.2)
・ 断熱工法の断熱材　※ 押出法ポリスチレンフォーム　(9.2.2)
厚さ（ mm ）※ 25 ・35 ・45 ・50
ただし、特定フロンを含まないもの。
(・)絶縁用シート　※ ポリエチレンフィルム厚さ　0.15mm　以上（保護防水）
※ フラットヤーンクロス70g／m^2　程度（断熱工法）
・ 立ち上がりコンクリート打放し仕上げの種別　※ B種 ・　(表6.2.3)
・ 立ち上がり部の乾式保護材　(8.5.6)（9.2.5）
・ 適用しない
※ 適用する　・ 押出成形セメントパネル　厚さ（ mm ）
・ PC パネル　・ RC
(・)伸縮調整目地　・ 成形伸縮目地　幅　25mm　（一般部）※ 30　（外周部）
・ 注入目地

2 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水

種別　・AS-1　・AS-2　厚さ（　　）　(9.3.2 ～4)（表9.3.1）
施工箇所

(3) 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2 ～3)（表9.4.1）

種　別	厚さ（mm）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・S-F1	※ 1.2 ・		・ シルバー	※ 非歩行
(・)S-F2	※ 2.0 ・	屋上	・ カラー	・ 軽歩行
・	・　・			
・S-M1	※ 1.5 ・			
・S M2	※ 1.5 ・			
・S-M3	※ 1.2 ・			

(4) 塗膜防水

(9.5.2 ～3)（表9.5.1～2）

種　別	施工箇所	仕上げ塗料塗り
・ X 1		仕上げ塗料塗り
(・) X 2	ベランダ、庇、設備架台	・ シルバー (・)カラー
・		
・ Y 1	地下外壁防水	Y-2 工法の保護シート
・ Y 2	屋外便所床	※適用する (・)適用しない

(5) 脱気装置

脱気装置　・ 屋根アスファルト露出防水 (・) シート防水 ・
※ 設ける　材種（ ※ ステンレス　SUS304　）・設けない ・
※ 設置数量　（平場　25 ～40 m^2 ／箇所、立上がり　10 m／箇所）

(6) シーリング

下表以外は、表 9.7.1 による　(9.7.2)（表9.7.1）

施工箇所	シーリング材の種類	目地寸法
ガラス、ライニング	SR-1	・ 図示 (・)5×5
金属、CWジョイント	MS-2	・ 図示 (・)20 ×10
外壁、建具	PU-2	・ 図示 (・)20 ×10

※ワーキングジョイントは　２面接着、ノンワーキングジョイントは　３面接着を原則とする。
※外壁以外の目地で、浴室、流し台、洗面化粧台等　水まわりや、耐温水性が必要な部位は、防カビタイプ　１成分形シリコーン系（脱オキシム形）シーリングとする。

(7) その他の防水処理

内部水廻りの防水処理
水廻り箇所及び水の被害が予想される所では、全面的に防水層を施工していない場所でも、次の下地処理を行う。
イ.コンクリートブロック積みの場合は、コンクリートの立上がりを設ける。
ロ.コンクリートスラブと立上がりとの打継ぎ部分には、幅　500　mm程度でウレタン系塗膜防水を行う。

(10) 石工事

1 材料・工法の一般

剛性の確保　石材の剛性が不足する場合には、FRP 補強などの処理を行う。

2 天然石張り

石の品質　(10.2.1)
床用石材　※ ２等品　・ １等品　・
壁及びその他の石材　※ １等品　・ ２等品　・
石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)（表 10.2.1～2）

記　号	種類 .産地 .厚さ .仕上等
石 張 A	
石 張 B	
石 張 C	

2 テラゾ張り

種石の種類　※ 大理石　・　(10.2.1)
表面仕上げ　※ 本磨き　・　(表 10.2.2)

3 壁の石張り工法

外壁石張り　(10.3.2～3)（10.5.2～3）
工　法
・ 乾式工法　・ 湿式工法　・ ＰＣ打込工法
石裏面処理　※ 行う（小口共）　・ 行わない
裏打処理　※ 行う（小口共）　・ 行わない
ドレインパイプ　※ ステンレスSUS304　・

内壁石張り　(10.4.2～3)（10.5.2～3）
工　法
・ 乾式工法　・
・ 空積工法（ ※ あと施工アンカー横筋流し工法　・ あと施工アンカー工法）
裏打ち処理　※ 行わない　・ 行う（但し　　）

(4) 床及び階段の石張り

石の厚さ（ mm） (・) 図示　・
床石張りの裏面処理　※ 行わない　・ 行う　(10.6.2)
屋内のワックス塵け　※ 行う　・ 行わない　(10.1.5)

5 取付け金物

乾式工法用金物　・ ｽﾗｲﾄﾞ工法　・ ﾛｯｷﾝｸﾞ工法　(10.2.2)（表 10.2.4）

(11) タイル工事

(1) 陶磁器質タイル

(11.2.2)

記　号	形状寸法（mm）	生地 磁器	せっ器	陶器	ゆう薬 無ゆう	施ゆう	役物 有り	無し	色 標準	注文	再生材 適用	施工箇所
・ ﾀｲﾙ A	300 角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・ ﾀｲﾙ B	150 角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
(・) ﾀｲﾙ C	100 角	(・)	・	・	(・)	・	・	(・)	(・)	・	・	便所床
・ ﾀｲﾙ D	100 角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
(・) ﾀｲﾙ E	50 角	(・)	・	・	・	(・)	・	(・)	(・)	・	・	廊下
・汚垂石	600 角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

タイル見本焼　※ 行わない　・ 行う （※外装タイル 。　）

2 壁タイル張りの工法

内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・ 改良積上げ張り　(11.2.3)(11.3.3)（表 11.3.2）
外装タイル　※改良圧着張り　・ 密着張り　・ マスク張り　・
躯体表面の処理　※行う（施工範囲※図示　・　）・行わない
※MCR 工法（6 章コンクリート）又は高圧水栓（ポリマ－セメントモルタル下地）工法
下地モルタル塗り　※ 標仕 15.2.2～5 による
タイルの見本張り　※ 行わない　・ 行う（ ※ 外装タイル・　）　(11.2.1)
接着力試験（屋外のタイル張り）　※ 行う　・ 行わない

3 陶磁器質タイル型枠先付け工法

(11.2.2)（11.4.2）（表 11.4.1）

適用タイル	種　別	タイル型枠先付け面のせき板
小口タイル	※タイルシート法	※標仕 6.9.3［材料］（b）（2）又は金属製タイル先付け用パネル ・
二丁掛タイル	・ 目地桝法	
大形タイル	・ 桟木法	

(4) 役物タイル

※ 外壁部窓マグサ・ 外壁柱梁型及び壁の出隅部等標準的な曲がり部には役物タイル（一体成形）を使用する。

5 落下防止

※ 外壁窓マグサ部廻り・小ロタ　イル以上の外壁耐震目地廻りにはステンレスなまし鉄線で落下防止処理を行うこと。その他監督職員の指示するものも同様とする。

6 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)
必要な部分（　　3 m以下　　）

7 その他

(12) 木工事

(1) 木材の品質

※ 標仕 12.2.1による　・市販品　(12.2.1)
木材保存剤（木材の防腐、防蟻処理）は、非有機リン系とする。
※ 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「伊賀市公共建築物等木材利用方針」に基き、原則として伊賀市内の木材の優先利用に努めること。調達できない場合は県産使用するものとする。なお、 県産材については「三重の木」認証を優先し使用する。

(2) 樹種

※ 標仕 表12.2.3 による　(12.2.1)（表 12.2.3）
・ 代用樹種を適用しない箇所（　　）

(3) 集成材

(12.2.1)

品　名	規格・品名	芯材の樹種	化粧単板の樹種
※集成材	※ 一般材	・たも・なら・※しおじ	
・構造用集成材	※１級 ・２級	・	
・造作用集成材	※１級 ・２級	・杉	
・化粧ばり造作用集成材	※１級 ・２級 種 類	・ ※無石綿タイプ	・

(4) 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。　(12.2.1)

5 防蟻処理

※ 行わない　・ 行う　箇所（　　）　(12.3.1)

(6) 防腐処理

※ 行う　・ 行わない　12 mm　(12.2.8)
・

(7) 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　(12.6.1)（表 12.6.1）
下張り用床板　※無し (・)有り（ ※合板張り厚さ12mm・ 板張り・ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ厚20）
床板 ※フローリングによる（ 19.5.2 による）・ 縁甲板（※ひのき・　）
畳下床板　※ 有り（ ※ 合板張り厚さ 12 mm　防水タイプ）・ 無し

(8) ホルムアルデヒド等発散材

ホルムアルデヒド放散量の等級　※ Ｆ☆☆☆☆　・
(12.2.1)

(13) 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺き

(13.2.2～3)（表13.2.1）

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板 厚（mm）
・一文字葺 ・横葺 ・立ハゼ葺き	※ 塗装溶融55%　アルミニウム亜鉛合金メッキ鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・ 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ カラーガルバリウム鋼板	※ 0.4 ・

工法（　　）

(2) 折板葺

(13.3.2～3)（表 13.2.1）
形　式　※ 重ね形　・ はぜ締め形　・ かん合形
材　料　※ 塗装溶融 55 %アルミニウム亜鉛合金メッキ鋼板及び鋼帯
（CGLCCR-20-AZ150　）
・
（規格等）
形　状　山高（ 88 ）mm　山ピッチ（ 200 mm　）
板厚さ　※ 0.6（mm）　・0.8（mm）・
軒先面戸板　※ 有り　・ 無し
断 熱 材　※ 有り（種別　厚さ　mm）・ 無し
耐火性能　※ 30 分耐火　・ 無し

(3) とい

(13.5.2)（表 13.5.1）
材種　※ 配管用鋼管 (・)硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管VP (・)ｱﾙﾐ 製 ・ 耐火二層管
鋼管製といの防露　※ 標仕表 13.5.5 による　(13.5.3)（表 13.5.5）
掃 除 口　※ 有り（図示による）・ 無し
養 生 管　亜鉛めっき鋼管　SOP 径 図示 mm　・ H= 1800
とい受金物　※ ＳＵＳ304　・ 亜鉛ﾒｯｷ　・

(4) ルーフドレイン

材　種　(・) 鋳鉄製　・ ステンレス SUS304
工　法　(・) 先付け　・ 後付け

(5) その他

長尺金属板葺きは国土交通省指定認定機関における耐風圧・水密性能データを有し、以下の性能を有するもの。耐風圧：負圧　4500 Ｐａ以上　水密：平均圧力差2300 Ｐａにおいて漏水しない性能を有すること。

(14) 金属工事

(1) ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種　類	施　工　箇　所
※ ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て
・ No.2Ｂ程度	
・ 鏡面仕上（ ※ No.7 ・ ）	
・	

特記なき限り、材質はステンレス　SUS304　とする

(2) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)（表 14.2.1）

種　別	施　工　箇　所
・ B　1 種（無着色）	
(・) B　2種（・ﾌﾞﾗｳﾝ 系 ・ ﾌﾞﾗｯｸ ・ ｽﾃﾝｶﾗｰ ）	

(3) 鉄の亜鉛めっき

(14.2.3)（表 14.2.2）

表面処理方法	種　別	施　工　箇　所
溶融亜鉛めっき	※ A 種	(・)ベランダ手摺、目隠しﾌｪﾝｽ支柱
	・ B 種	・
	・ C 種	・
電気亜鉛めっき	※ D 種	・
	・ E 種	・
	・ F 種	・

(4) 軽量鉄骨天井下地の補強

天井ふところが 1.0ｍ以上の補強
※ 標仕14.4.4　による補強
(・)ボルト止めタイプ　・ 図示
大空間天井の下地補強及び壁とのクリアランスは図示による
耐風補強（屋外の軒天井、ピロティ天井等は耐風補強とすること）
※ 耐風下地ボルト止めタイプ　・ 図示　・ 無し
耐震工法の採用　※ 有り（ サッシ部間柱カバー ）・ 無し

(5) 軽量鉄骨壁下地の補強

スタッド、ランナの種類　(14.5.3)
・ 25形　・ 45形 (・) 50形 (・)65形　・ 90形 (・) 100形

6 金属成形板張り

(14.6.2)（表 14.2.1）

形　状	製　法	材　種	寸法 ㎜	厚さ ㎜	表面処理
・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	・ 押出し ・ ロール	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・			・ B　1種 ・ B　2種（　　） ・
・ﾊﾟﾈﾙ 形	※ プレス ・				

伸縮調整継手　※ 設けない　・ 設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)

(7) アルミニウム製笠木

※ 図面特記参照　(14.7.2～3)（表 14.2.1）（表 14.7.1）

種　類	板厚（mm）	表面処理	固定間隔	表面処理
(・) 250 形	2.2 以上	※A　1又は、 B　1 種 (・) B　2 種 （ｽﾃﾝｶﾗｰ）	固定方法及び間隔は、品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体メーカーの仕様による。
・ 300 形	2.5 以上			
・ 350 形	3.0 以上			
・ 100 形	1.2 以上			
・ 200 形	1.5 以上			

(8) 手すり及び タラップ

(14.2.1)（14.8.2～3)（表 14.2.2）

種　類	材料の種別	表面処理
(・)手すり	※ ステンレス SUS304	※ ＨＬ程度　・ 鏡面程度　・
	(・) 鉄	亜鉛めっき　外部 ※ C 種 内部 ※ E 種
	(・) アルミニウム製	表面処理 (・) A-2 ・ B-2
(・)タラップ	※ ステンレス SUS304	※ 研磨無し　・
	・ 鉄	亜鉛めっき　内外部 ※ C 種

9 システム天井

方式	バー材種	天井材厚さ（mm）	施工箇所	備考
・ライン方式 ・クロス方式 ・ロ型方式	・アルミニウム製 ・スチール製	・ロックウール（　） ・グラスウール（　）		
・	・	・		

※ 工法規格はメーカーの基準による。
・ 耐震対策　※ 振れ止め補強有り（　　）・ 無し

(10) あと施工アンカー

設備機器緊結有り（　　）・ 無し
引抜き試験　※ する　・ しない　(14.1.3)

(15) 左官工事

(1) モルタル塗り材料

吸水調整材　(15.2.2)

(2) 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表 6.2.4 及び標仕15.3.2 による　(15.3.1～2)（表 6.2.4）

施工箇所	平たんさ（mm）	備　考
ﾋﾞﾆﾙ系床材貼り、直均し仕上	1m につき 7以下	
防水下地	3m につき10以下	
ﾀｲﾙ張り、ﾓﾙﾀﾙ塗り	1m につき10以下	

(3) 仕上げ塗材仕上げ

(15.5.2)（表 15.5.1）

種　類	呼び名	仕上げの形状等
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 Si	・
	・ 可とう形外装薄塗材 Si	・
	(・)外装薄塗材 E	(・) 砂壁状　・ 着色骨材砂壁状
	・ 内装薄塗材 E	・ 砂壁状じゅらく
	・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状　・ ゆず肌状　・ さざ波状
	・ 防水形外装薄塗材 E	・ ゆず肌状 ・ さざ波形 ・ 凹凸状
	・ 外装薄塗材 S	砂壁状
	・ 内装薄塗材 C	・
	・ 内装薄塗材 L	・
	・ 内装薄塗材 Si	・
	・ 内装薄塗材 W	京壁状じゅらく
(・) 複層仕上塗材	・ 複層塗材 CE	・ ゆず肌状　・凸部処理 ※ 凹凸模様
	・ 可とう形複層塗材 CE	耐候性　※ ３種　・
	・ 複層塗材 Si	上塗材
	・ 複層塗材 E	溶　媒　※ 水系　・ 溶剤系
	・ 複層塗材 RE	樹　脂　※ アクリル系
	・ 複層塗材 RS	
	・ 防水形複層塗材 CE	外　観　※ つやあり　・ つやなし
	(・)防水形複層塗材 E	・ メタリック
	・ 防水形複層塗材 RE	
	・ 防水形複層塗材 RS	防水形の増塗材　※ 行う
・ 軽量骨材仕上げ塗材	・ 吹付用軽量塗材	・ 砂壁状　・
	・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状　・

（備考）E= 合成エマルション系　S= 合成樹脂溶液系　W= 水溶性樹脂
C= セメント系　CE= ポリマーセメント系　SI= けい酸質系
RE= 反応硬化形合成樹脂エマルション系　RS= 合成樹脂溶液系

ホルムアルデヒド放散量の等級　※ Ｆ☆☆☆☆　・
※ 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。　(15.5.2)

(16) 建具工事

(1) アルミニウム製

外部に面する建具　(16.2.2)（16.2.4）（表 16.2.1）

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・ A 種	S-4	※ A-3	※ W-4	※ 70	※図示　・
(・) B 種	S-5			(・) 100　・	※図示　・
・ C 種	S-6	A-4	W-5	・ 100　・	※図示　・
・				・	

・ 遮音性能　・T-1　・T-2　・T-3　・T-4
・ 断熱性能　・H-1　・H-2　・H-3　・H-4　・H-5
・ 耐震ドアーセットの面内変形追随性　・ D-1　・ D-2　・ D-3
(・) 表面処理　※ B－１種 (・) B－２種（・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ※ｽﾃﾝｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ ）・
（表 14.2.1）
屋内建具
表面処理　・ C　1種又は B-1 種
※ C　2種又は B-2 種（ ※ ﾌﾞﾗｳﾝ系・ ﾌﾞﾗｯｸ (・)ｽﾃﾝｶﾗｰ ）

表面処理の種別　（表 14.2.1）

種　別	表面処理	皮膜厚さ（μm）	塗膜厚さ（μm）
・ A-1 種	無着色陽極酸化皮膜	※ 15以上	
・ A-2 種	着色陽極酸化皮覆	※ 15以上	
・ B-1 種	無着色陽極酸化塗装複合皮覆	※ 9 以上	※ 7 以上
(・) B-2 種	着色陽極酸化塗装複合皮覆	※ 9 以上	※ 7 以上
・ C-1 種（内装）	無着色陽極酸化皮膜	※ 6 以上	
・ C-2 種（内装）	着色陽極酸化皮覆	※ 6 以上	
・ D 種	化成皮膜の上に塗装		

2 見本の製作等

・ 特殊建具の仮組（建具符号：　　）　(16.1.4)
・ 実物大モックアップ試験　・ 有（　　）　※ 無
実物大モックアップ試験の種類　・耐風　・耐震　・水密　・気密

(3) 網　戸

防虫網（網目１６メッシュ）　(16.2.3)
網の種類　※ステンレス製（ SUS316）・ガラス繊維入り合成樹脂製 (・) 合成樹脂製
形　式　※ 外部可動式　・ 固定式

(4) 鋼製建具

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　(16.4.2)（表 16.4.1）
※ 適用する（適用箇所は建具表による）・ 適用しない
耐風圧適用は建具表による。
特定防火設備の戸 (・) 適用する
遮音を必要とする室扉（適用箇所は建具表による）は下記仕様とする
※ 扉厚　※ 45　・ 60
※ 遮音性能　※ T-2　・ T-3　・

(5) 鋼製軽量建具

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　(16.5.2)
※ 適用する（適用箇所は建具表による）・ 適用しない

6 ステンレス製建具

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　(16.6.2)（表 16.6.1）
※ 適用する（適用箇所は建具表による）・ 適用しない
耐風圧適用は建具表による。
特定防火設備の戸　・ 適用する
遮音を必要とする室扉（適用箇所は建具表による）は下記仕様とする
※ 扉厚　※ 45　・
※ 遮音性能　※ T-2　・ T-3　・

表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　・図示による　（表 16.6.1）（16.6.4）
曲げ加工　※ 普通曲げ　・ 角出し曲げ（補強有り）　(16.6.5)

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
（仮称）長田・新居小学校建設工事（建築主体工事）					建築工事特記仕様書２	2017.06		A－02
ORIGINAL NO								

章	項目	特記事項

7 自動ドア開閉装置

（16.8.2～3）（表16.8.1～3）

開閉方法	センサの種類	
※ スライディングドア	・マットスイッチ	・電子マットスイッチ
・スイングドア	※ 光線スイッチ	・音波スイッチ
	・熱線スイッチ	・光電スイッチ

※ 安全装置　・補助機構（　　）・全半開機構　・パニックオープン機構

⑧ 自閉式吊り引戸装置

品質規格　※ 標仕表 16.9.1 による　（表 16.9.2 ～ 3）

⑨ 木製建具

表面材　※ 合板類　（表 16.7.2）
・ミディアムデンシティファイバ－ボ－ド（ＭＤＦ）及びパ－ティクルボ－ド
ホルムアルデヒド放散量の等級　※ Ｆ☆☆☆☆ ・　（16.7.2）
かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　）
ふすまの上張り　※ 新鳥の子又はビニル紙程度（押入などの裏面は除く）
・ 鳥の子　（表 16.7.3）
接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級　※ Ｆ ☆☆☆☆ ・　（16.7.2）
建具材の含水率　・A種　※B種　・C種　(16.7.2)(表16.7.1)

⑩ その他の建具

⊙ エレベーターの防火、防煙区画に使用する特殊建具等
（国土交通大臣認定取得品）

⑪ 建具用金物

マスターキー　※ 製作する（※ 3 枚　・　）　・製作しない　（16.7.4）
グランドマスターキー　・⊙ 製作する（※3枚　・　）　・　製作しない
建具用金物　（16.4.6）（16.5.6）（16.8.2）（表16.8.1）
錠前類はシリンダー箱錠（レバ－ハンドル）とする。
・ 特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律第７条に基づくシリンダー錠の防犯性能
※ 要（・５分未満　※5分以上　・10分以上）　・ 不要
見本品提出の上、監督職員の承諾を得ること。

⑫ ガラス

※ ガラス　※ 種類、厚さは図示　（16.13.2）
・ ガラスブロック　標仕16.13.5 による　（16.13.5）

寸法（mm）	色調	パターン	防火認定
200 × 200	※ クリア　・熱線反射 ・乳白　・カラー（　　）	床用	※ 無し ・有り

⑬ ガラスとめ材及び溝

（表9.7.1）

建具の種類	材種
アルミニウム製	※ シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※ シーリング材
ステンレス製	※ シーリング材

ただし、防火設備の戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。

板ガラスをはめ込む溝の大きさ　（16.13.3）
標仕16.13.3 以外のアルミニウム建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会ＪＡＳＳ17ガラス工事「3.1 収まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける

14 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能等
・ガラス飛散防止フィルム	第2 種	・内張り・外張り飛散防止率	D1
・目隠しフィルム		・内張り	

品質 JIS A5759　による

15 重量シャッター

開閉形式　※ 上部電動式（手動併用）　・手動式　（16.10.2）（表16.10.1）
一般重量シャッターのシャッターケース　※ 設ける　・設けない　（16.10.2）
機能　外壁防火　・屋内防火　・防煙
外部に面するシャッ－の耐風圧性能による区分　・50　・80　・120　・
危害防止機構　設置しない箇所　図示
※ 障害物感知装置（自動閉鎖型　）
・ シャッタの二段降下方式
ガイドレール等　※ ステンレス製SUS304　・鋼鉄製　（16.10.3～ 4）(表16.10.2)

⑯ 軽量シャッター

開閉形式　※ 手動式　⊙ 上部電動式（手動併用）　（16.12.2（表16.12.1）
スラット材質　※塗装溶融亜鉛メッキ鋼板　・　（16.12.3）
形状 ※インタ　ーロッキング形　・ オーバーラッピング形　（16.11.4）
ガイドレール等　⊙ ステンレスSUS304 t1.5　※　鋼鉄製　（表16.12.2）
外部に面するシャッタ－の耐風圧性能による区分　・　・

17 オーバーヘッドドア

セクション材　※ スチールタイプ　・　アルミニウムタイプ　（16.12.2 ～ 3）
・ ファイバーグラスタ　イプ
開閉方式　※　バランス式　・ チェーン式　・ 電動式　（16.12.2）
収納方式　・ スタンダード形　・ ローヘッド形　（16.12.2）
・ ハイリフト形　・　バーチカル形
ガイドレール　・ 鋼板製　※ ステンレスSUS304　（16.12.3（表6.12.1）
耐風圧性能による区分　・50　・75　・100　・125　（16.12.2）
電動式の場合は障害物感知装置を設ける。

⑱ 障害物感知装置

障害物感知装置を設ける電動式のシャッター（ドア）のうち、防火シャッター及び防煙シャッターにおいては、「防火シャッター開閉作動時の危害防止に関するガイドライン」に基づく「危害防止機構を備えた防火シャッターの据え付け」に掲げられた障害物感知装置、又は、二段
その他の電動式のシャッター（ドア）は、電動降下中に障害物を感知し、自動的に停止させる機能を有するものとする。
（ 16.11.2）

19 大形ガラススクリーン

工法　・ SSG　構法
・ ガラスリブ工法（　・ガラス吊下げ工法　・ガラス方立工法　・併用工法）
・ DPG　工法
・ MPG　工法
・ テンションマリオン工法

20 リングシャッター

開閉方式　・ 手動式　※ 電動式
パイプの材質　※ SUS 製　・ 鋼製
シャッターケース　※ 設ける　・ 設けない

21 水圧開放装置

・ 有り（　　）箇所　・ 無し

---

17 カーテンウォール工事

1 一般事項

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会　JASS14　による。
総合図（施工図）
イ. 工事に先立ち、総合図を作成し監督職員の承諾を受ける。
ロ. 総合図には特に下記の事項を記載する。
層間変位追従方式（構造体への取付部、ユニット間の接合部）、パネル割付、ガラス厚と割付・取付金物配置、部材断面、ﾌﾞﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄﾊﾟﾈﾙ の配筋及び埋込金物、パッキング・シール材・インシュレーション・スペリ材、層間区画部分の耐火被覆、表面処理・裏面処シール材・　イン

施工計画書
イ. 工事に先立ち施工計画書を作成し、監督職員に提出し、承諾を受ける。
ロ. 施工計画書は特に下記の留意事項について作成する。
カーテンウォールの性能書（各種計算書・建具性能試験報告書・シーリング資料など）添付。材料の加工方法・接合方法、組立要領、製品精度、防食処理、摩擦音の防止方法、仕上げの材料、工法、品質管理及び規格同証明、検査基準要領、取付け方法、取付け精度等。
試験　・ 性能確認試験　※　行わない　・　行う
・試験の種類・耐風圧（ ）・耐震（ ）・水密（ ）・気密（ ）・遮音（ ）
・試験体の製作　※ 製作しない　・製作する（寸法 ※ 実物大　・　）

2 メタルカーテンウォール

カーテンウォール材料の種類　（17.2.2）

種類	規格等
※ アルミニウム製	※共仕 16.2.3 のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォールの方式
・ 方立方式
・ バックマリオン方式　（ ・ 単純２辺支持構法　・ ＳＳＧ構法 ）
・ パネル方式
・ スパンドレル方式
・ 小型 パネル組み合わせ方式（ ・ ノックダウン方式　・ ユニット方式 ）

シーリング材及びガラス取付材料
下記以外は共仕表 9.6.1による　（9.6.2）　（17.2.2）（表 9.6.1）

被着体の組み合わせ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石・タイル			
ガラス	ガラス			

構造用 ｶﾞｽｹｯﾄ　※ 適用しない　・適用する（施工箇所　※図示　）　（17.2.2）
断熱材　※ 適用しない　（17.2.2）
・ 適用する（種類：　厚さ mm ）：　施工箇所　※ 図示　）
製品の寸法許容差　※ 標仕表17.2.1による　（17.2.3）（表 17.2.1）
・ メーカー標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理　（17.2.3）（表 14.2.1）

種別	色彩等
・A－１種　・B-1 種	・無着色
・A ２種・B-2 種	・ブラウン系　・ブラック　※ ステンカラー
・着色塗膜　塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク	

耐風圧性能　（17.1.3）
性能値　※ 建築基準法施行令87 条及び建設省告示第454 号に定められた風圧力に対して安全であること。
・ 正圧　N／m 2 以上及び負圧　N／m 2 以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状態
※ ４m以下	※ ±（1／150）×h　かつ 絶対量20mm　以下	※ 各部の破損、残留変形、有害な変形が起こらないこと
・４m を超える	・±1／200 ×b かつ15mm　以下	

耐震性能　（17.1.3）
設計用震度　水平方向（Ｋ）　Ｈ※ 1.0 ・
垂直方向（Ｋ）　Ｖ ※ 0.5 ・

構造種別	層間変位量 (h= 支点間距離)	状態
鉄骨造 ・	※ ±（1/100）× h以上	※ 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない。シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※ ±（1/200）× h以上	

水密性　・ Ｗ－4　・ Ｗ－5　・　（17.1.3）
気密性　・ Ａ－3　・ Ａ－　・　（17.1.3）
耐火性能　※ 適用しない　・ 適用する（　時間、 施工個所：　図示）
映像調整　・ 行わない　※　行う（建具表による）
メーカー　性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会　JASS14 による。
コンクリートの種類及び品質　（ 17.3.2）
※標仕17.3.2による
・下表による（ただし、下表以外は標仕　17.3.2による）

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc） N／ｃｍ 2	所要スランプ（cm）
鉄筋	※ SD295A　・	

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質　（14.2.3）（表 14.2.2）

金物種類及び部位	内部	外部
ＰＣ版打込み金物	※ Ｅ種　・	※ Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付ボルト	※ Ｅ種　・	※ ステンレスボルト
２次ファスナー	※ Ｅ種　・	※ Ａ種　・
取付ボルト	※ Ｅ種　・	※ Ａ種　・
レベル調整ボルト	※ Ｅ種　・	※ Ａ種　・
	・	・

※上記以外はカーテンウォールメーカーの仕様による
PC 取付用ブラケットは鉄骨工事とし、二次ファスナー以降は工事とする。

3 ＰＣカーテンウォール

---

18 塗装工事

① 材料

屋内の壁、天井の仕上げ材は、防火材料とする。　（18.1.3）
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※ F☆☆☆☆　・
（18.2.2～3）（18.2.5～7）（表18.2.1～2）（表18.2.4 ～7）

施工部位	塗料種別
木部（不透明塗料塗り）	※ Ａ種　・ Ｂ種　（表 18.2.1）
木部（透明塗料塗り）	・ Ａ種　※ Ｂ種　（表 18.2.1）
鉄面	・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種（表 18.2.2）
モルタル及びプラスター面	・ Ａ種　※ Ｂ種　（表 18.2.4）
コンクリート及び ALC パネル面	・ Ａ種　※ Ｂ種　（表 18.2.5）
コンクリート及び押出し成形セメント板面	・ Ａ種　※ Ｂ種　（表 18.2.6）
せっこうボード及びその他のボード面	・ Ａ種　※ Ｂ種　（表 18.2.7）
せっこうボード面継目処理工法	※ Ａ種　・ Ｂ種　（表 18.2.7）

亜鉛メッキ面の素地ごしらえの種別　（18.2.4）（表 18.2.3）（表 18.3.4）

種別	施工部位及び塗料種別
Ａ種	鋼製の建具及び、２液形ポリウレタ ンエナメル塗り、常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗りの場合
Ｂ種	A種、C 種以外
Ｃ種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

② 素地ごしらえ

③ 錆止め塗料塗り

塗料種別
鉄面　屋外　※A 種　・Ｂ種　屋内・A 種　※ Ｂ種　（表 18.3.2）
亜鉛メッキ面　屋外　・A 種　⊙ Ｂ種　屋内・A 種　・ Ｂ種　（表 18.3.2）
⊙ 鉄面　見掛り部分　※　A種　・ Ｂ種　（7.8.2）（表 18.3.3）
見隠れ部分　・ A種　※ Ｂ種
⊙ 亜鉛メッキ面　鋼製建具　※ Ａ種　・Ｂ種　（表 18.3.4）
その他　・ A種　・ Ｂ種　※Ｃ種

④ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

塗料種別　※　１ 種　・
種別　（18.4.2）
（18.4.3～18.4.5）
（表18.4.1～18.4.3）

下地	種別
・ 木部	※Ａ種(外部)※Ｂ種(内部)・Ｃ種
・ 鉄鋼面	・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種
・ 亜鉛めっき鋼面	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

⑤ クリアラッカー塗り(CL)

種別
木部　・ Ａ種　⊙ Ｂ種　（18.5.2）（表18.5.1）

6 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)

種別
・ Ａ種　・ Ｂ種　（18.6.2）（表18.6.1）

⑦ 耐候性塗料塗り(DP)

上塗り 等級
⊙ １ 級（フッ素系）　・ ２ 級（ｼﾘｺﾝ系）　・ ３ 級（ｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ系）

下地	種別
鉄鋼面	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面	⊙ Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・Ａ　１種　・Ａ　２種 ・Ｂ　１種　・Ｂ　２種 ・Ｃ　１種　・Ｃ　２種

（18.7.2）～（18.7.4）（表18.7.1）～（表18.7.3）

⑨ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

種別
・ Ａ種　⊙ Ｂ種　・ Ｃ種　（18.9.2）（表 18.9.1）
しみ止め（・　　）

11 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

種別
・ Ａ種　・ Ｂ種　（18.11.2）（表18.11.1）

⑫ オイルステイン塗り(OS)

（表 １８．１３．１ 参照）　（18.13.2）

シーリング材料　（9.6.2）　（17.3.2）（表 9.6.1）

施工個所	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

※ 上記のシーリング材料の種類は標仕表 6.1によるほかメーカーに確認のこと
断熱材　※ 適用しない
・ 適用する（種類：　厚さ（mm）：　施工箇所　※ 図示）
ゴンドラ用ガイドレール　・ 適用する　・ 適用しない
製品の寸法許容差　※ 標仕表 17.3.1による　（17.3.3）（表 17.3.1）
・ メーカー標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ　・

耐火材料

施工部位	種別	規格等
・ ファスナー部		
・ 取付ブラケット		
・ パネル目地部		
・ 層間ふさぎ		

耐風圧性能　（17.1.3）
性能値　※ 建築基準法施行令87 条及び建告示第454 号に定められた風圧力に対して安全であること。
・ 正圧　N／m 2 以上及び負圧　N／m 2 以上に対して安全であること。

耐震性能　（17.1.3）

構造種別	層間変位量 h= 支点間距離）	状態
鉄骨造 ・	※ ±（1／100）×h 以上 ・	※ 部材が損傷せず、破損脱落もしない。ガラス等の破損もない。シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※ ±（1／200）×h 以上 ・	

---

19 内装工事

① 接着剤

（19.2.2）（19.3.3）（19.5.5）
接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級　※　F☆☆☆☆　・
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。但し標仕表 19.2.1エポキシ樹脂系の指定のあるものは除く。

② ビニル床シート張り

（19.2.2）

種類	ＪＩＳの記号	色柄	厚さ（mm）
※ 発泡層のないもの	※ ＮＣ　・ ⊙ ＦＳ	※ 無地　⊙ ﾏｰﾌﾞﾙ 柄	※ 2.5 ⊙ 2.0
・発泡層のあるもの		※ 柄物・ 無地	
・			
・			

工法　※　熱溶接工法　・　突付け（施工箇所　）　（19.2.3）

3 ビニル床タイル張り

（19.2.2）

種類	ＪＩＳの 記号	厚さ（mm）	備考
※ ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ 床ﾀｲﾙ(半硬質)	ＣＴ	※ 2	
・ ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ 床ﾀｲﾙ(軟質)	ＣＴＳ	・	
・ ﾎﾓｼﾞﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ 床ﾀｲﾙ	ＨＴ	・3	
・			

4 帯電防止床タイル張り

（19.2.2）

種類	厚さ	性能
・コンポジションビニル床タイル	※ 2mm　・	体積抵抗値（ JIS K6911による） 1.0×10^{9} Ω以下または、 漏えい抵抗値（JIS A1454による） 1.0×10^{10} Ω未満
・ホモジニアスビニル床タイル	・ 4.0又は4.5mm	
・	・	
・	・	

⑤ ビニル幅木

高さ（ mm）　※　60　・ 75　・ 100　・ 70　（19.2.2）

6 カーペット敷き

・ 織じゅうたん　（19.3.1～2）（表 19.3.1～3.2）

種別	パイル形状	帯電性	色柄等	備考
・ Ａ種	・ カットパイル	人体帯電圧 ※ 3Kv以下	※ 単一色（無地）	
・ Ｂ種	・ ループパイル	・	・ 柄物（標準品）	
・ Ｃ種	・ カット、ループ併用		・	

・ タフテッドカーペット　（19.3.3～4）（表 19.3.2）

パイル形状	パイル長（mm）	工法	帯電性
・ カットパイル	※ 5 ～7　・	※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	人体帯電圧 ※ 3Kv 以下 ・
・ ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ	※ 4 ～6　・		
・ ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※ 4　・		
・ ｶｯﾄ､ﾙｰ併用	・		

・ タイルカーペット　（19.3.3）（表 19.3.2）

パイル形状	種別	寸法（mm）	総厚（mm）	電気抵抗値（Ω）	施工箇所
※ ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※ 第一種 ・ 第二種	※ 500 角 ・	・ 6.5 ・	※ 適用しない ・ 10^{9}Ω以下	・ 事務室
・ ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ		・	・	・	・

⑦ 合成樹脂塗り床

（19.4.2～3）（表 19.4.5　）

種類	仕上げ種類
・ 弾性ウレタン　塗り床材	※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
⊙ エポキシ樹脂　塗り床材 防塵タイプ	※ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ　（ ※ 平滑　・ 防滑） ・ 樹脂モルタ ル仕上げ　（ ※ 平滑　・ 防滑） ・ 防滑仕上げ

⑧ フローリング張り

（19.5.2 ～7）（表 19.5.1～5）

種別	樹種	工法	仕上塗装等	施工箇所
※天然木化粧複合フローリング	※しおじ ・ 杉 ・ 桧	⊙ 釘止め工法（C種） ⊙ 直張工法	※ 塗装品 ・ 無塗装品	⊙ 図示 ・
・	・	・		・

⑨ 畳敷き

（19.6.2）（表 19.6.1 ）

下地の種類	畳の種別
標仕表12.5.1 による床組	※ Ｂ種　・　・
構造用合板　厚１２	※ Ｃ種　・ Ｄ種

畳表及び畳床はVOC　含有量の少ないものとする。

10 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ（mm ）　※ ４０　・ ６５　・ ８０　・
フローリング類　厚さ（mm ）　※ ８０　・ ９５　・

⑪ せっこうボード その他のボード張り

（19.7.2）（表 19.7.1）

種類	JISの記号	厚さ（mm ）、規格等
・ 硬質木毛セメント		・ 20　※ 25　・ 30　・
・ 普通木毛セメント板		・ 20　※ 25　・ 30　・
・ 準不燃木繊セメント板		・ 25　・ 30　・ 40　・ 50
⊙ けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ２（無石綿）（⊙ 6　⊙ 8　・ 12 ）
⊙ ロックウール化粧吸音板	DR	※ フラットタイプ（・ 9（不燃）⊙ 12 ・ ） ・ 凹凸ﾀｲﾌﾟ（※ 12（不燃）・ 15 ・ 19 ）
・ ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	DR(凹凸) DR､DR	※ フラットタイプ　9（不燃） ・ 凹凸タイプ（　※ 12　・ 15 ）（不燃
⊙ せっこうボード	GB-R	⊙ 12.5（不燃）　⊙ 9.5（準不燃
・ 不燃積層せっこうボード	GB（N） GB（NT）	・ 9.5（不燃）　・ 化粧無（下地張り用） ・ 化粧有（トラバーチン模様）
⊙ ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S	・ 12.5（不燃）⊙ 9.5
⊙ 強化せっこうボード	GB-F	⊙ 12.5（不燃）・ 15.0（不燃）⊙ 21.0（不燃）
・ せっこうラスボード	GB-L	・ 9.5
⊙ 化粧せっこうボード	GB-D GB（W）	⊙ 9.5(準不燃・不燃) ・ 模様（ ※ 柾目・ 板目）専用下地材付き
⊙ 化粧せっこう吸音ボード	GB-P	・ 9.5（準不燃
⊙ メラミン樹脂化粧板		・ JISK6903　による　厚さ 1.2mm
・ ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・ 3　・ 7　・ 9　・ 12　・
・ 素地 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	RS	・ 無研磨板　・ 研磨板
・ 単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	VS	・ 10　・ 12　・ 15　・ 18　・ 20
・ 硬質木片セメント板		・ 25

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※ 適用する　・ 適用しない

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
（仮称）長田・新居小学校建設工事（建築主体工事）					建築工事特記仕様書３	2017.06		A－03
ORIGINAL NO								

章	項目	特記事項

⑫ 吸音材

(表 19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード 1号	RW B	※25 ・
⊙グラスウール吸音ボード 2号 32K	GW B	※25 ・50
・グラスウール吸音ボード 2号 24K	GW B	・25

⑬ 壁紙張り

(19.8.2)

記号	壁紙の種類 紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質	防火種別	施工箇所	品質等
⊙クロスA	・	・	⊙	・	・	※不燃⊙準不燃・難燃	図示(一般)	AA級
⊙クロスB	・	・	・	・	⊙	※不燃⊙準不燃・難燃	図示(和室)	AA級
・クロスC	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃		
・クロスD	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃		
・クロスE	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃		

素地ごしらえ
- ・モルタル及びプラスターの素地ごしらえ ・A種 ※B種 (表18.2.4)
- ⊙せっこうボード面の素地ごしらえ ※A種 ・B種 (表18.2.7)
- ⊙その他のボード面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 (表18.2.7)

⑭ 断熱材

(19.9.2～3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
⊙押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	⊙一般部(屋根スラブ下)	※25 ⊙30	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキン層付)	⊙接地部分 ・	※25 ⊙30	
・木繊セメント板		・一般部	※25 ・	特定フロンを使用しないもの
		・接地部分	※50 ・	※準不燃 ・
		メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出する。		
⊙硬質ウレタンフォーム断熱材(現場発泡断熱材)密度 294N/m³ (30kg/m³)以上		※断熱材補修部分		特定フロンを使用しないもの 難燃性 ※3級 ・2級
		・一般部	・15	
		⊙屋上スラブ下	⊙35	
		メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出する。		
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁(図示の範囲 ・	※40以上 ・	断熱抵抗 厚さ/熱伝導率 =0.676 以上(m²・k/w)
		メーカ建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの。		
・グラスウール		・外壁、小屋裏(100) ・24K	・内壁(100) ・24K	

15 浴室天井材

市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅(mm)	備考
※アルミニウム製	※焼付塗装品	準不燃品	※200	廻縁は樋付とし、メーカーの標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
硬質塩ビ製	※塗装品		※300	
	・木目調		・100	

⑯ ホルムアルデヒド等発散材

ホルムアルデヒド放散量の等級 ※F☆☆☆☆ ・
(19.4.2) (19.5.2) (19.7.2) (19.8.2) (19.9.2)

⑳ ユニット及びその他工事

① フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	仕上高さ(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
図示	⊙パネル構法 ・溝構法	150	⊙1.0G ・0.6G	⊙3000N ・5000N	⊙集成材複合フローリング	スチール製
図示	⊙パネル構法 ・溝構法	50	⊙1.0G ・0.6G	⊙3000N ・5000N	⊙集成材複合フローリング	樹脂製
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

表面仕上げ材の品質・規格等は、 19章内装工事による
スロープ及びボーダー ※メーカーの標準仕様 ・図示
コンセント等取付け対応 ※メーカーの標準仕様(コンセント本体は別途設備工事)
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル 配線取り出し開口:パネル 1枚につき
40mm×80mm程度の開口1箇所以上
フリーアクセルフロア全体面積に対する設置割合
※20～30% ・
空調用吹き出しパネル ※無し
・有り (※固定式 ・可変式 :施工箇所は図示)
メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける .

② 可動間仕切り(学校用間仕切り)

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材料 厚さ(mm)	仕上げ	不燃材料の認定
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・60 ⊙80	※鋼板 (※0.6 ・0.8 ⊙0.5)	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	・有り

・防火性能 ・有り( ) ・無し
・遮音性能 ・有り( ) ・無し

③ 移動間仕切り(スライディングウオール)

(20.2.4)

遮音性能による区分	遮音グレード	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所・備考
・一般タイプ	※T－ ・	50	※鋼板 ・PB	・焼付け塗装 ・壁紙貼り	会議室
・遮音タイプ	※T－ ・		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙貼り	

表面仕上げ材の品質、規格等は、 19章内装工事による

取り付け方法はメーカーの仕様により、適切な資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

④ トイレブース

(20.2.5)
表面仕上げ材 ・メラミン樹脂化粧板 ⊙ポリエステル樹脂化粧板 t=40
足形状 ※幅木型 (ステンレスSUS304) ・足金物型 (ステンレスSUS304)

5 階段滑り止め

材種 ※ステンレスSUS304 ・アルミ製 (20.2.6)
形状 ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド ・無 ※有 (・ステンレスSUS304 ※ビニル製)
幅(mm) ※約35
取付工法 ※接着工法 ・埋込み工法

⑥ 階段手摺

※集成材クリアラッカー仕上げ(市販品 径 約 34mm)
・ビニル製ハンドレール(幅 約 50mm)・図示

⑦ 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

	種類	寸法(mm)	色彩	備考
⊙黒板	※焼付け		※緑 ・黒	※平面・曲面・スクリーン付き引分け
			※緑 ・黒	
⊙ホワイトボード	※ほうろう	⊙図示	※白 ・	※平面・曲面・スクリーン付き引分け

⑧ 表示標識(サイン)

衝突防止表示 ※図示(市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・アルミ製)
・無し (20.2.10)
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図に準ずる。

9 煙突用成形ライニング材

最高使用温度 ※650℃ ・400℃ (20.2.11)
メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

10 キャスタブル耐火物

工法 ※こて押さえ 最高使用温度 ※400℃
メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

11 ブラインド(湯沸し室)

(20.2.12)

形状	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・
・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

⑫ カーテン ロールスクリーン

防炎性能 ※有り (20.2.14)

施工箇所	カーテン形式 片引	引分	装置 電動	ひも	手引	名称品質、寸法等
建具表指示	・	・	・	・	・	遮光1級、防炎
	・	・	・	・	・	
	・	・	・	・	・	
	・	・	・	・	・	

メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

⑬ カーテンレール

材種 ・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 (20.2.14)
形式 ⊙片引き ⊙引分け(※暗幕用は 300mm 以上の召合せの重掛けとする)

⑭ ブラインドボックス及びカーテンボックス

・市販品(アルミニウム製押出し型 材) ⊙ 木製
溝幅×深さ(mm) ※90×150 ・120×85 ・120×85 ・120×180 ・200×150
色彩 ※B－ ・B－ (・ブラウン系 ・ブラック※ステンカラー)
⊙図示

⑮ 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
⊙垂直方向	※完全(全貫通型)スリット	・耐火型	・有り
⊙水平方向	・不完全スリット	・非耐火性	・無し

目地	内壁 (幅x深さ)	外壁 (幅×深さ)
目地材	シーリング材(見え掛かりのみ)	シーリング材(内外とも)
・目地寸法(mm)	※20×10 ・	※20×10 ・

性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

⑯ 止水板

形状 ⊙差込式 ・据置式 ※壁張り式
性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

⑰ 天井点検口

材質 アルミニウム製 (・額縁タイプ ※目地タイプ)
サイズ 600×600 ⊙450×450 ・

⑱ 床下点検口

材質 アルミニウム製 (受け枠 ・アルミ製 ⊙ステンレス製)
サイズ ⊙600×600 ・450×450 ・
仕上げ材 ※床仕上げと同材 ・
耐火性能 ・有 ・無

⑲ かぎ箱

市販品 形式 ・30組用 ⊙60組用 ・120組用 ・

20 くつふきマット

市販品
材質 ・塩化ビニル製(コイル状 ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製(受枠とも)
・ビニル製(ステンレス製受枠) ・ステンレス製(受枠とも)

㉑ 流し台ユニット

⊙図示

種類	寸法(L=mm)	適用内容	備考
⊙流し台	・1200 ⊙1500	トラップ付き	※市販品 ・
⊙コンロ台	・600	バックガード ※有り	※市販品 ・
・つり戸棚	・1200 ・900	H=500	※市販品 ・
・レンジフード	※600 ・		※市販品 ・
・水切り棚	※1200 ・	ステンレス製 ※1段式	※市販品 ・

吊り戸棚の耐火性 ・有り ・無し

㉒ 屋内掲示板

枠の材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・
サイズ ⊙図示 ・

23 洗面カウンター

材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石
奥行き(mm)・約400 ・約600 ・350
仕様 ・扉及び中棚付 ・オープン

㉔ 誘導用及び注意喚起用床材

仕様はJIS T9251による
屋内 ⊙塩化ビニル製 ⊙磁器又はせっき質タイル(※300・)
・ステンレス鋲打 ・レジンコンクリート製
屋外 ・レジンコンクリート製 ⊙磁器又はせっき質タイル(※300・)
・ステンレス鋲打 ・石材(・花こう岩 ・人造石 ・)

㉕ 敷地境界石標

・花こう岩類(文字記号入り) ※市販品(コンクリートブロック製)

26 旗竿

材質 ※アルミニウム合金製
形式 ※テーパー型 ・同一断面型
地上高さ(m) ・6 ・8 ・9 ・10 ・12 ・
操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式
固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式

27 旗竿受け金物

市販品 材種 ※ステンレスSUS304 ・

㉘ フェンス

・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ⊙図示

29 屋外掲示板

照明器具 ※有り ⊙無し 枠の材質 ・ステンレス製 ・
施錠 ※有り ⊙無し

30 車止め支柱

※ステンレス製(上下式鎖内蔵型)径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm
※スプリング付き ・スプリング無し ・埋め込み式
・鋳鉄製( ) ・アルミ鋳物製( )
その他 ・

31 銘板

・無し ・有り 仕様(図示)

32 定礎

・定礎石 ※花こう岩 彫り込み文字 ・
大きさ(mm) ・400×300×30
・定礎箱 ※ステンレス製 ・銅板製 ・
大きさ(mm) ・350×270×70 ・

㉝ 避難器具

金属製避難はしご及び緩降機は国家検定品とし、その他の避難器具は消防庁長官基準適合品とする。

34 防煙垂れ壁

・固定式 ※アルミフレーム 高さmm( ) ※500 ・
ガラス(・線入りガラス ※網入りガラス 6.8)
可動式 ※法令に適合した製品、施工とする。
・垂直降下式(・可動レール ※固定レール) 高さ(mm)※500 ・800
材質 ※不燃布(不燃認定品)
・回転降下式(※天井同材張り ・鋼板又はアルミ製)高さ(mm) ※500 ・800
降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋め込み型)
・復帰方式(※手動巻上げハンドル ・電動式)
・まぐさ・座板・レールの材質(・鋼製塗装仕上げ ・アルミニウム製 ・ステンレス製)

㉟ 消火器ボックス

市販品 (⊙埋め込み型 ⊙露出型) (・扉無し ⊙扉付き)
材質 ⊙鋼板製焼付塗装(⊙標準色 ・指定色)・ステンレス製
※消防法などに適合した形状・設置場所とする。

37 自転車置場

・止め金物式 ・機械2段式

㊳ 郵便受箱

・ステンレス製既製品 (前入後出 370×455×150) ・
⊙ポスト受口:W390×H100 ステンレス製ヘアライン仕上(家具図参照)

㊴ 収納、収納家具

材質、形状、寸法 ※図示 ・ (12.2.2) (19.7.2)
・ホルムアルデヒドの放散量の等級 ※ F☆☆☆☆ ・
⊙転倒防止金具設置すること。(耐震ラッチ等、地震対策を施すものとする。)

40 エキスパンション・ジョイント金物

材質 ・アルミ ・ステンレス クリアランス・50 ・100 ・150 ・200
耐火性能 ・有り(図示) ・無し
防水型 ※適用する ・適用しない

㊶ ホルムアルデヒド等発散材料

ホルムアルデヒドの放散量の等級 ※ F☆☆☆☆ ・

㉑ 排水工事

① 排水管

配水管用材料 (21.2.1) (表21.2.1) (21.3.3)

材種	管の種類	管形状(接合方法)
※遠心力コンクリート管	※外圧管(※1種・2種)	B型(ゴム接合)
⊙硬質塩化ビニル管	※VP ・VU	
・鋼管	・白管 ・	

車道部の排水管の敷設 ※図示 (21.3.1) (21.3.3)
・砂基礎(地業厚さ20cm 以上 材料 山砂の類)

② 排水桝及びふた

鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

種類/適用荷重	⊙T－2用	⊙T－6用	・T－14用	・T－20用	形状寸法
⊙水封形	⊙	⊙	・	・	
・密閉形(テーパーパッキン式)	・	・	・	・	
・簡易気密形(パッキン式)	・	・	・	・	
・中蓋付密閉形	・	・	・	・	
・断熱形	・	・	・	・	

グレーチングふた (21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製(亜鉛メッキ) ⊙ステンレス製	※受枠付き ・ ボルト固定 ※無し ・図示	⊙溝ふた用 ⊙桝ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	⊙歩行用 ⊙T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用 ・T－25用	※細目 ※普通目 ⊙細目	※凹凸形 ※平形 ・凹凸形

(21.2.3) (表3.2.1)

③ 埋戻し土

※B種 ・

4 浸透管及び浸透桝

性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

㉒ 舗装工事

① 盛り土に用いる材料

⊙A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3) (表3.2.1)

② 遮断層及び凍上抑制層の材料

・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・ (22.2.2～3)
・凍上抑制層 ※切り込み砂利 ・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・砂

③ 路床安定処理用材料

※添加材料による安定処理 (22.2.2～3) (表22.2.2)
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰( ) ・消石灰( )
添加量 kg/m³ (目標CBR ※5以上 ・)

4 路床土の支持力比試験(CBR試験)

※行う (※乱した土 ・乱さない土) (22.2.5)

5 路床締固め度の試験

※行う ・行わない (22.2.5)

6 路盤材料

※再生クラッシャーラン (RC-40) (22.3.3)
・クラシャラン(C-40)又はクラッシャランスラグ(CS-40)
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

7 アスファルト舗装

(22.4.2) (表22.4.1)

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し ・有り	・

カラー舗装の着色骨材 ・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)
アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト (22.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.6)

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒ギャップアスファルト混合物(13F)
基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)	

シールコート ※行わない ・行う(施工範囲) (22.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)

⑧ コンクリート舗装

早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3)
注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3(表22.5.3)
鉄筋 ※有り ・無し (22.5.3～4)
厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)
伸縮目地 ⊙有り ( ) ・なし

9 透水性舗装

アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6) (22.6.6)

10 排水性舗装

アスファルト混合物 (22.7.3) (表22.7.2)
※改質アスファルト 1型 ・改質アスファルト 2型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3) (表22.7.3)

適用時期	種類
下記以外	PKR-T1
冬期	PKR-T2

・アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6)
・現場透水性試験 ※行わない ・行う

11 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.8.2) (22.8.3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※普通平板(N・カラー平板(C) ・洗出平板(W・擬石平板(S)	※300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル

・インターロッキング舗装 (22.8.2) (22.8.3)

種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等
※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック	車道部 ※80 ・ 歩道部 ※60 ・	※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色とする
・植生ブロック	※80 ・100 ・	

メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。
・舗石舗装 (22.8.2) (22.8.3)

種類	厚さ(mm)	施工方法	基層
※小舗石(花こう岩)	※80～100 ・	※うろこ張り	※コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

12 路面表示用塗装

品質 JIS K5665 による ※3種 1号 ・
寸法 幅(mm)※100 ・図示 厚さ(mm) ※1.0 ・1.5 施工 溶融式
揮発性有機溶剤の含有率 塗料総質量に対して 5% 以下とする。

23 植栽工事

1 樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類 (23.2.2～3) (表23.2.1～2)

適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
※行う ・行わない	・20 ・100	※B種 ・	・植栽範囲 ・図示

樹木 (23.2.2～3) (表23.2.1～2)

樹木の樹高	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
・12m 以上	※100 ・120 ・150	※A種	・葉張りの範囲
・7超～12m未満	※80 ・100	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3超～7m以下	※60 ・80	・C種	・図示
・3以下	※50 ・60	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

2 植込み用土

・現場発生の良質土 ・客土 (※畑土 ・黒土) (23.2.3)

3 土壌改良材

※適用する(バーク堆肥(50リットル/m²) ・) (23.2.3～4)
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示

4 支柱材

※杉の焼丸太(間伐材)・竹 ・ワイヤー(防錆処理) ・鋼製 (23.3.2)

5 幹巻き用材料

※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)

6 芝張り種類

種類 ・こうらい芝 ・野芝 (23.4.2)
客土 ・行わない ・行う(・畑土 ・黒土 ・山砂)

7 屋上緑化

屋上緑化システム
※省管理型
質量の上限値 ( ) kg
かん水装置 ・設ける(工事区分は図示)
透水層、保水層及び排水層等
保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能: 240 L/m²・h以上
耐荷重性能
省管理型:3×10^4N/m² 以上の載荷重で異常のないこと。
耐根層の材料
合成樹脂耐根シート(厚さ 3mm以上)
又は抗根性剤(耐根性能の実績を有すること)
植込用土 製造所の仕様による
植栽の種類 ※製造所の指定するもの ・セダム ・
・管理型

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)					建築工事特記仕様書4	2017.06		A－04
ORIGINAL NO								

工事区分表

	工事項目	建築	電気設備	機械設備	外構	別途工事	備考
1．共通項目							
1	工事上の各種申請届出諸費用	○	○	○		○	
2	電力の引込工事（負担金含む）		○				
3	電力、上下水道の引き込み後引渡しまでの使用料金	○	○	○			
4	電力、上下水道の引き込み後引渡しまで再メーターにて計上						
5	通信引込工事（負担金含む）					○	
6	既存上下水道・ガス管の撤去・同手続き			○			
7	工事施工に伴う近隣電波障害調査・対策工事	○					
8	上記以外の近隣電波障害調査・対象工事	○	○				
9	周辺建築物等調査	○					
10	仮囲い・共通足場	○					
11	現場以外の検査・試験立会いに要する費用	○	○	○	○		
2．機械基礎							
1	コンクリート基礎又は鉄骨基礎（仕上げを含む）	○					原則建築工事
2	上記以外の設備配管支持架台等		○	○			
3	同上アンカーボルト・箱入れ・埋め込み	○	○	○			
3．躯体貫通・補強							
1	地中梁の通気管・人通孔の貫通スリーブ及び躯体補強	○					
2							
3	RC造の梁貫通配管スリーブ	○	○	○			
4	同上補強（100mmφを越えるもの）	○					
5	床・壁の貫通スリーブ・箱入れ	○	○	○			
6	同上補強	○					
7	各種貫通穴明け箇所の穴埋め・補修	○	○	○			
4．躯体儀愛の開口・補強							
1	工事製作間仕切り壁：開口・取付枠・補強	○					
2	現場製作間仕切り壁：開口・取付枠・補強	○					
3	間仕切り壁開口部の穴埋め・補修	○	○	○			
4	天井付各種器具の開口・取付枠	○					
5	同上天井開口の墨出し	○	○	○			
6	壁・床：開口部各種器具取付枠	○	○	○			補強は建築工事
7	ブロック・煉瓦の設備機器取付用：開口・取付枠・補強	○					
8	PCパネル・ALCパネル・押出成形セメント板：開口・取付枠・補強	○					
9	同上開口部の穴埋め・補修	○					
5．点検口・ガラリ							
1	外壁取付ガラリ	○		○			ダクト接続用フランジ付
2	同上接続用アングル・防鳥ネット・防虫ネット	○		○			
3	内壁取付ガラリ（レターンガラリを含む）	○		○			
4	ドアガラリ・レターンスリット	○					
5	各種設備の点検口（天井・壁・床）	○					
6．ピット・マンホール・水槽類など							
1	汚水槽・雑排水槽・防火水槽・RC造各種水槽			○			防水・仕上げ工事共
2	同上用マンホール・格子蓋・タラップなど	○					
3	屋内・屋外マンホールの取付枠・鋳鉄蓋・化粧蓋	○	○	○	○		化粧蓋は建築工事
4	屋内・屋外トレンチの躯体・排水溝・蓋・仕上げ	○			○		
5	同上設備配管類の架台		○	○			
7．シャワー室・湯沸し室・便所等							
1	流し台・洗面化粧台・陶製流し（排水トラップ含む）・吊戸棚 ・水切り棚・換気フード	○					
2	同上一次側電気配管・配線、給排水接続・洗濯機パン配置		○	○			
3	換気フードとのダクト接続（防火ダンパーを含む）及び換気ダクト			○			
4	電気湯沸し器（配管接続共）			○			
5	同上一次側電気配管・配線・接続		○				
6	ユニットシャワー	○					
7	同上一次側電気配管・配線・接続、給排水接続・ダクト接続		○	○			
8	大型化粧鏡（壁付けの場合）	○					
9	化粧鏡（既製品４５０×６００以下）	○					
10	化粧鏡（上記以外のもの）	○					
11	洗面カウンター	○					
12	手摺（補強板取付を含む）	○		○			
13	衛生機器			○			

	工事項目	建築	電気設備	機械設備	外構	別途工事	備考
8．設備関連工事など							
1	中央集中監視制御装置及び総合監視盤	○	○	○			昇降設備は建築
2	機械警備用センサー・同配線・接続		○			○	警備工事は別途
3	同上用配管		○				
4	機械警備監視盤		○			○	警備工事は別途
5	空調自動制御盤の供給取付			○			
6	同上自動制御盤までの１次側電気配管・配線・接続		○				
7	空調自動制御盤から各空調機までの配管・配線・接続			○			
8	同上盤から電気工事設置の制御用配管・配線・接続			○			
9．防災消火設備など							
1	消火栓ボックス（ホース・ノズルとも）			○			
2	同上起動用押しボタン・表示灯・発信機・ベル・電話		○	○			
3	消火ポンプ制御盤（起動リレーとも）			○			
4	同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○				
5	同上制御盤以降の２次側電気配管・配線・接続			○			
6	防火・防煙ダンパーの起動リレー・リミットスイッチ			○			
7	同上電気配管・配線・接続		○				
8	消火器ボックス	○					
9	救助袋・収納箱（避難器具設備類）	○					
10	消火器本体			○			
10.排煙設備							
1	自然排煙口及び手動開放装置	○					電動式の場合、制御盤共
2	同上遠隔操作装置及び制御盤供給取付	○					
3	同上遠隔操作装置及び制御盤までの1次側電気配管・配線・接続						
4	自然排煙口から手動開放装置までの電気配管・配線・接続	○					
5	同上遠隔操作装置から受信機までの電気配管・配線・接続						
6	機械排煙、給気口（ダンパーとも）・同開放装置			○			
11.防火戸など							
1	防火戸・防火シャッター・防火防煙シャッター・建具 付 属 金 物　・自動開閉装置・作動確認スイッチ 操作スイッチ・連動制御盤	○					
2	感知器及び上記機器と受信機までの配管・配線・接続		○				
3	防火・防煙シャッター・垂れ壁・常開防火戸のレリーズ	○	○				
4	同上電気配管・配線・接続		○				
5	防火区画・排煙区画の貫通部処理	○	○	○			
12.扉、自動扉、シャッター（防火シャッター等）							
1	駆動装置・感知装置・制御盤・電源スイッチ	○					
2	同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○				
3	同上制御盤以降の２次側電気配管・配線・接続	○					
4	シャッター・制御盤及び操作ボタン	○					
5	同上制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○				
6	同上制御盤以降の２次側電気配管・配線・接続	○					
13.昇降設備							
1	制御盤までの1次側電気配管・配線・接続		○				
2	制御盤以降の２次側電気配管・配線・接続	○					
3	上記以外	○					※主として建築工事
14.遮音・吸音・断熱工事							
1	躯体関係の遮音（防音）・防振・吸音・断熱	○					
2	各種設備貫通部の断熱補修	○	○	○			
3	空調ダクトの遮音（防音）・防振			○			
4	設備機器類の遮音（防音）・防振		○	○			
5	各種設備貫通部の遮音（防音）・防振		○	○			

	工事項目	建築	電気設備	機械設備	外構	別途工事	備考
15.排水設備							
1	ルーフドレン（原則打ち込み）、	○					
2	グリーストラップ（既製品）、屋内・屋外汚水・雑排水工事			○			
3	敷地内汚水・雑排水工事・（汚水・雑排水桝を含む）、 敷地外本管への接続			○			
4	竪樋配管及び第一会所桝までの配管工事	○					
5	外構雨水排水工事（第一会所桝以降）	○					
6	同上敷地内既存雨水排水桝及び既存雨水排水側溝への接続	○					
16.その他							
1	屋内サイン、屋外サイン、外部看板等	○					
2	ブラインド、カーテン、暗幕、ロールスクリーン	○					
3	ブラインドボックス・カーテンボックス	○					
4	点検口、タラップ	○					
	避雷設備・同接地工事		○				

TITLE	ARTICLE	REVISION			管理建築士	DESIGNER		NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
（仮称）長田・新居小学校建設工事（建築主体工事）								工事区分表	2017.06		Ａ－０５
ORIGINAL NO											

工事概要

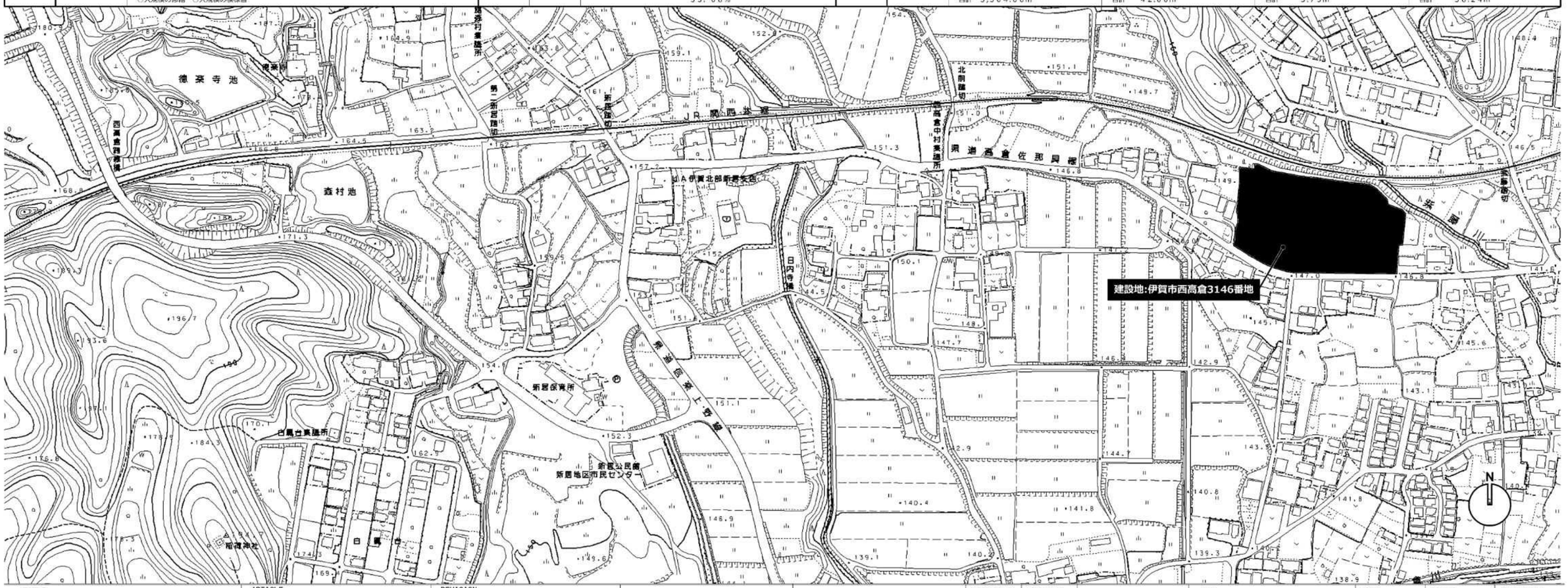
※（ ）内寸法は平均ＧＬからの高さを示す。
※ ▨ は既設建物を示す

工事名称		(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)
敷地概要	地名地番	三重県伊賀市西高倉3146番地
	敷地面積	１１,８９６.８２㎡
	都市計画	●都市計画区域内
		○市街化区域　●市街化調整区域　○区域区分未非設定都市計画区域
		○準都市計画区域内　○都市計画及び準都市計画区域外
	用途地域	○第１種低層住居専用地域 ○第２種低層住居専用地域 ○第１種中高層住居専用地域
		○第２種中高層住居専用地域 ○第１種住居地域 ○第２種住居地域 ○準住居地域 ○近隣商業地域
		○商業地域　○準工業地域　○工業地域　○工業専用地域　●指定無し
	防火地域	○防火地域　○準防火地域　●指定無し　●２２条指定地域
	基準建ぺい率（%）	○３０　○４０　○５０　●６０　○７０　○８０
	基準容積率（%）	○５０　○６０　○８０　○１００　○１５０　●２００　○３００　○４００　○５００　○６００
		○７００　○８００　○９００　○１０００
	道路・壁面後退	●主前面道路（ 5.00 m）　○その他前面道路（　　m）
		●都市計画道路（○有　m　●無）　○壁面後退（○有　m　●無）
工事範囲	建築工事	●本体工事
	外構工事	●本体工事　○別途工事・・・外構図参照
	解体工事	○本体工事　●別途工事
	昇降機設備工事	●本体工事　○別途工事（乗用ＥＶ２０人（１台）車椅子、視覚障がい者対応仕様）
		ＥＶ図参照（新法対応ＥＶ、耐震等級Ｓ級）
	電気設備工事	○本体工事　●別途工事・・・電気図参照
	機械設備工事	○本体工事　●別途工事・・・設備図参照
建築概要	主要用途	小学校
	工事種別	○新築　●増築　○改築　○移転　○用途変更
		○大規模の修繕　○大規模の模様替

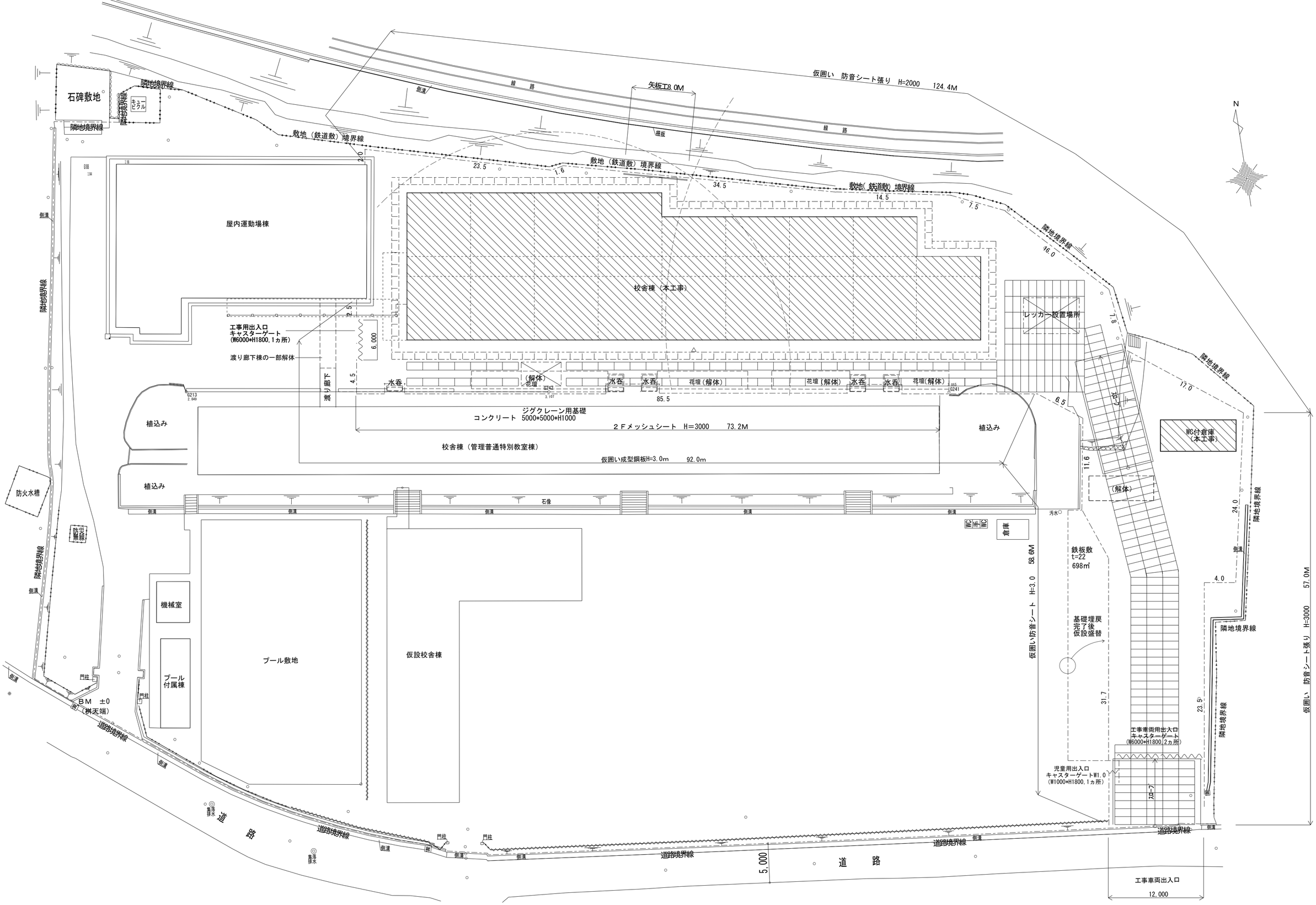
建築概要	建築面積	1.屋内運動場　５３２．００㎡
		2.プール付属棟　３９．６０㎡
		3.機械室　２０．００㎡
		4.新校舎　１３５５．７７㎡
		5.渡り廊下+自転車置場　４２．００㎡
		6.受水槽ポンプ室　３．７５㎡
		7.WC付倉庫　１．４４㎡
		合　計　２０３１．３６㎡
	延床面積	1.屋内運動場　５３２．００㎡
		2.プール付属棟　３９．６０㎡
		3.機械室　２０．００㎡
		4.新校舎　３３０４．００㎡
		5.渡り廊下+自転車置場　４２．００㎡
		6.受水槽ポンプ室　３．７５㎡
		7.WC付倉庫　１．４４㎡
		合　計　３９７９．５９㎡
	建ぺい率	建ぺい率算定床面積　２０３１．３６㎡
		１７．０８%
	容積率・	容積率率算定床面積　３９３４．７１㎡
		３３．０８%

棟別概要				
棟　名	1.屋内運動場	2.プール付属棟	3.機械室	
用　途	屋内運動場	便所等	機械室	
工事種別	○新築　○増築　○改築　●既設	○新築　○増築　○改築　●既設	○新築　○増築　○改築　●既設	
階　数	地上１階、地下０階、塔屋０階	地上１階、地下０階、塔屋０階	地上１階、地下０階、塔屋０階	
構　造	○ＳＲＣ　○ＲＣ　●Ｓ　○ＣＢ　○Ｗ	○ＳＲＣ　○ＲＣ　●Ｓ　○ＣＢ　○Ｗ	○ＳＲＣ　●ＲＣ　○Ｓ　○ＣＢ　○Ｗ	
最高の高さ	設計ＧＬ＋　８．５３ｍ	設計ＧＬ＋　２．７０ｍ	設計ＧＬ＋　３．０ｍ	
最高の軒高	設計ＧＬ＋　８．０７ｍ	設計ＧＬ＋　２．５０ｍ	設計ＧＬ＋　２．５ｍ	
建築面積	５３２．００㎡	３９．６０㎡	２０．００㎡	
床面積・	１階　５３２．００㎡	１階　３９．６０㎡	１階　２０．００㎡	
	合計　５３２．００㎡	合計　３９．６０㎡	合計　２０．００㎡	

棟別概要				
棟　名	4.新校舎	5.渡り廊下・自転車置場	6.受水槽ポンプ室	7.WC付倉庫
用　途	小学校	小学校(渡り廊下)+自転車置場	ポンプ室	便所+倉庫
工事種別	○新築　●増築　○改築　○既設	●新築　○増築　○改築　○既設	○新築　●増築　○改築　○既設	○新築　●増築　○改築　○既設
階　数	地上３階、地下０階、塔屋０階	地上１階、地下０階、塔屋０階	地上１階、地下０階、塔屋０階	地上２階、地下０階、塔屋０階
構　造	○ＳＲＣ　●ＲＣ　○Ｓ　○ＣＢ　○Ｗ	○ＳＲＣ　○ＲＣ　●Ｓ　○ＣＢ　○Ｗ	○ＳＲＣ　○ＲＣ　○Ｓ　○ＣＢ　○Ｗ	○ＳＲＣ　○ＲＣ　●Ｓ　○ＣＢ　○Ｗ
最高の高さ	設計ＧＬ＋１４．５４ｍ（１４．２７７）ｍ	設計ＧＬ＋　２．９５ｍ（２．９５）ｍ	設計ＧＬ＋　ｍ	設計ＧＬ＋　３．３８ｍ
最高の軒高	設計ＧＬ＋１２．２５ｍ（１１．９８７）ｍ	設計ＧＬ＋　２．７０ｍ（２．７０）ｍ	設計ＧＬ＋　ｍ	設計ＧＬ＋　３．３８ｍ
建築面積	１，３５５．７７㎡	４２．００㎡	３．７５㎡	３８．２４㎡
床面積・	１階　１，１８４．２０㎡	１階　４２．００㎡	１階　３．７５㎡	１階　３８．２４㎡
	２階　１，０９５．１０㎡			
	３階　１，０２４．７０㎡			
	合計　３，３０４．００㎡	合計　４２．００㎡	合計　３．７５㎡	合計　３８．２４㎡

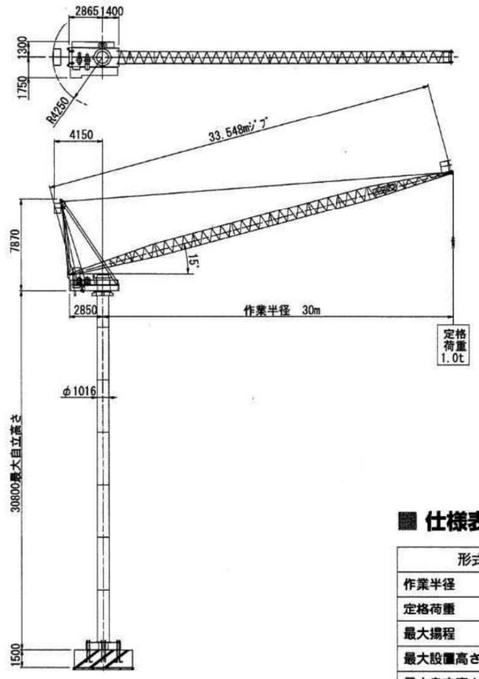


TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)					概要書+案内図	2017.06	(A2) 1/200	A－06
ORIGINAL NO								

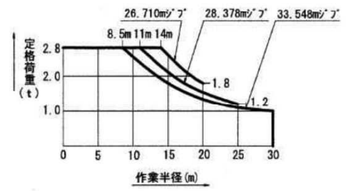


TITLE	ARTICLE	REVISION			管理建築士	DESIGNER		NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
（仮称）長田・新居小学校建設工事（建築主体工事）								資材搬入経路・仮設計画図	2017.06	S=1/300（A2）	A－07
ORIGINAL NO											

タワークレーン（JCL-030Ⅲ）

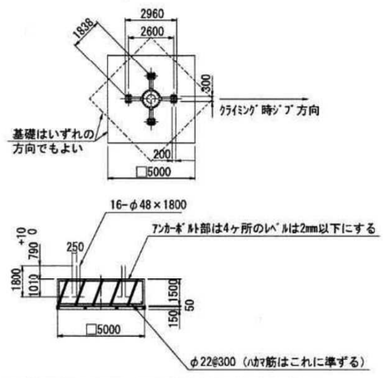


定格荷重線図



標準基礎詳細図

S=1/100



最大自立高さに対して、基礎下面の地耐力は長期10t/以上、短期で20t/以上とする。

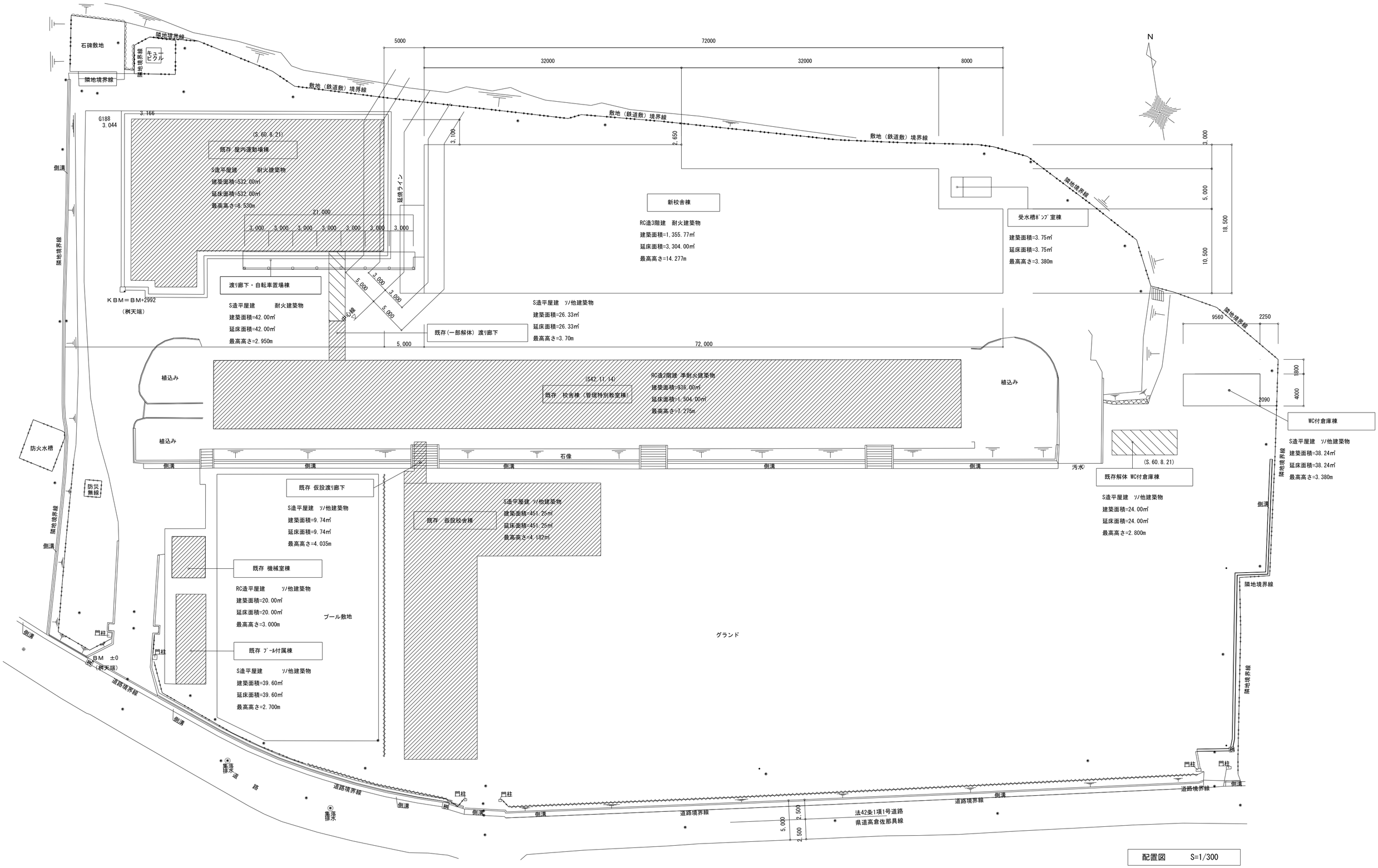
■ 仕様表

形式		ＪＣＬ－０３０Ⅲ		
作業半径		0～14～21 m	0～11～25 m	0～8.5～30 m
定格荷重		2.8～2.8～1.8 t	2.8～2.8～1.2 t	2.8～2.8～1.0 t
最大揚程		108 m	105 m	100 m
最大設置高さ		87 m	84 m	73 m
最大自立高さ		30.8 m		
速度	巻上	低速：7 (8.3) m/min	高速：28 (34) m/min	
	起伏	10.3 (12.3) m/min		
	旋回	0.57 r.p.m		
	昇降	1.3 (1.6) m/min		
電動機	巻上	20/5 kw 4/16P 40%ED		
	起伏	5.5/2.75 kw 4/8P 40%ED		
	旋回	2.2 kw 4P 15%ED インバータ制御		
	昇降	3 kw×4P 30分定格		
電源		200V 50Hz (220V 60Hz)		
昇降	方式	電動チェーンブロック		
	ストローク	4.5 m		
安全装置		過負荷防止装置 起伏制限装置 巻過防止装置 旋回制限装置 本体落下防止装置		
質量	本体	8.74 t		
	マスト	2.21 t×1本 1.94×6本		
	ベースフレーム	1.85 t		
	本体最大分割質量	1.09 t		
	総質量	24.44 t		

※（ ）内は60Hz時の速度を示す。但し、イ3ンバータ制御は除く

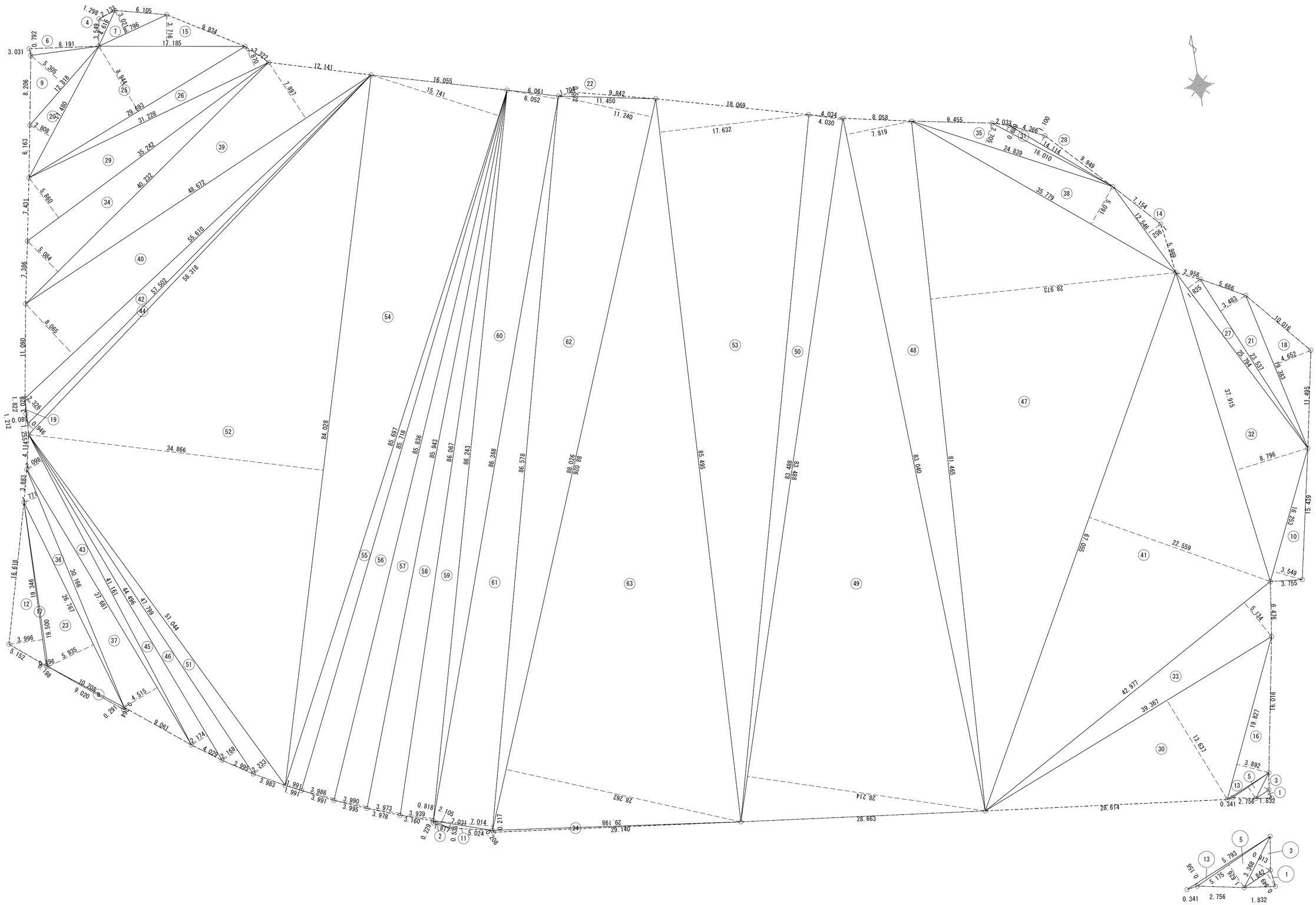
参考図

TITLE	ARTICLE	REVISION		管理建築士	DESIGNER		NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
（仮称）長田・新居小学校建設工事（建築主体工事）							タワークレーン参考図	2017.06	（Ａ２）1/200	Ａ － ０８
ORIGINAL NO										



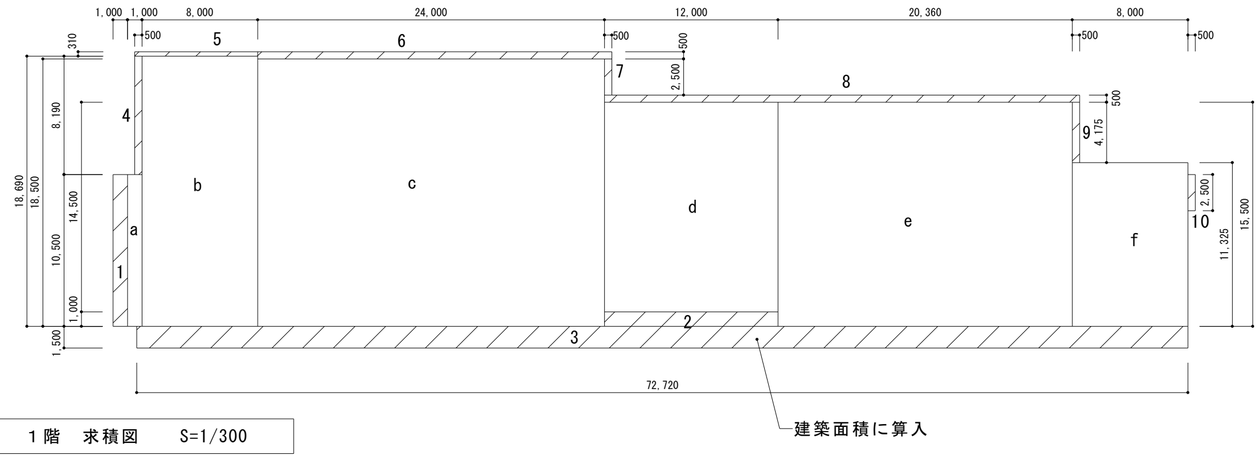
配置図　S=1/300

TITLE	ARTICLE	REVISION		管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)						配置図	2017.06	S=1/300 (A2)	A－09
ORIGINAL NO									



記号	計算式(m)	面積(㎡)
1	1.842 × 0.949 ÷ 2	0.874
2	2.105 × 0.229 ÷ 2	0.241
3	3.368 × 0.913 ÷ 2	1.537
4	4.616 × 1.298 ÷ 2	2.996
5	5.175 × 1.626 ÷ 2	4.207
6	8.191 × 0.792 ÷ 2	3.244
7	8.796 × 3.021 ÷ 2	13.286
8	10.208 × 0.264 ÷ 2	1.347
9	12.318 × 5.305 ÷ 2	32.673
10	16.253 × 3.549 ÷ 2	28.841
11	7.031 × 0.535 ÷ 2	1.881
12	19.346 × 3.996 ÷ 2	38.653
13	5.793 × 0.156 ÷ 2	0.452
14	12.546 × 1.952 ÷ 2	12.245
15	17.185 × 3.716 ÷ 2	31.930
16	19.827 × 3.892 ÷ 2	38.583
17	19.500 × 0.196 ÷ 2	1.911
18	19.383 × 4.652 ÷ 2	45.085
19	3.029 × 0.089 ÷ 2	0.135
20	17.480 × 2.808 ÷ 2	24.542
21	23.537 × 3.483 ÷ 2	40.990
22	11.450 × 0.522 ÷ 2	2.988
23	26.767 × 5.935 ÷ 2	79.431
24	29.198 × 0.217 ÷ 2	3.168
25	29.693 × 8.944 ÷ 2	132.787
26	31.228 × 2.870 ÷ 2	44.812
27	25.794 × 1.825 ÷ 2	23.537
28	14.114 × 1.100 ÷ 2	7.763
29	35.242 × 5.860 ÷ 2	103.259
30	39.367 × 13.637 ÷ 2	268.424
31	16.010 × 0.689 ÷ 2	5.515
32	37.915 × 8.796 ÷ 2	166.750
33	42.977 × 5.134 ÷ 2	110.322
34	40.232 × 5.084 ÷ 2	102.270
35	24.839 × 2.705 ÷ 2	33.595
36	30.166 × 1.771 ÷ 2	26.712
37	37.681 × 4.515 ÷ 2	85.065
38	35.779 × 5.091 ÷ 2	91.075
39	48.672 × 7.897 ÷ 2	192.181
40	55.610 × 8.065 ÷ 2	224.247
41	67.055 × 22.559 ÷ 2	756.347
42	57.502 × 2.326 ÷ 2	66.875
43	41.161 × 2.098 ÷ 2	43.178
44	58.318 × 0.946 ÷ 2	27.584
45	44.496 × 2.174 ÷ 2	48.367
46	47.799 × 2.168 ÷ 2	51.814
47	81.465 × 28.973 ÷ 2	1180.143
48	83.040 × 7.819 ÷ 2	324.645
49	83.488 × 28.214 ÷ 2	1177.765
50	83.488 × 4.030 ÷ 2	168.228
51	51.044 × 2.233 ÷ 2	56.991
52	84.028 × 34.866 ÷ 2	1464.860
53	85.495 × 17.632 ÷ 2	753.724
54	85.697 × 15.741 ÷ 2	674.478
55	85.718 × 1.991 ÷ 2	85.332
56	85.836 × 3.986 ÷ 2	171.071
57	85.943 × 3.990 ÷ 2	171.456
58	86.067 × 3.973 ÷ 2	170.972
59	86.243 × 3.939 ÷ 2	169.856
60	86.368 × 6.052 ÷ 2	261.350
61	86.578 × 7.014 ÷ 2	303.629
62	88.026 × 11.240 ÷ 2	494.706
63	88.026 × 28.262 ÷ 2	1243.895
合計面積		11,896.82

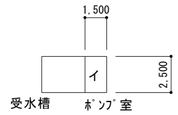
TITLE	ARTICLE	REVISION			管理建築士	DESIGNER		NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
（仮称）長田 新庁舎等整備工事に係る建築主体工事								敷地面積表	2017.06	S=1/300（A2）	A － 10
ORIGINAL NO											



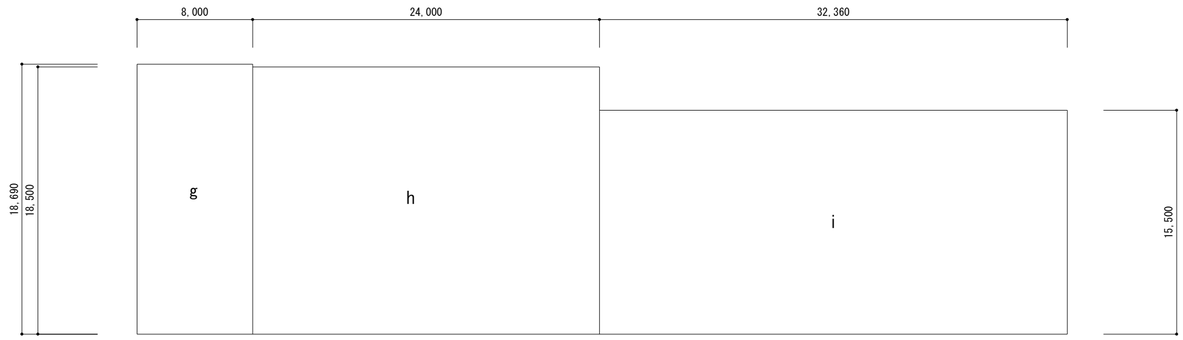
１階　求積図　　S=1/300

a	1.00	x	10.50	=	10.50
b	8.00	x	18.69	=	149.52
c	24.00	x	18.50	=	444.00
d	12.00	x	14.50	=	174.00
e	20.36	x	15.50	=	315.58
f	8.00	x	11.325	=	90.60
			計		1,184.20
		１階床面積			1,184.20 m2

1	1.00	x	10.50	=	10.50
2	12.00	x	1.00	=	12.00
3	72.72	x	1.50	=	109.08
4	0.50	x	8.19	=	4.095
5	8.50	x	0.31	=	2.635
6	24.50	x	0.50	=	12.25
7	0.50	x	2.50	=	1.25
8	32.86	x	0.50	=	16.43
9	0.50	x	4.175	=	2.087
10	0.50	x	2.50	=	1.25
			計		171.577
		建築面積			1,355.77 m2

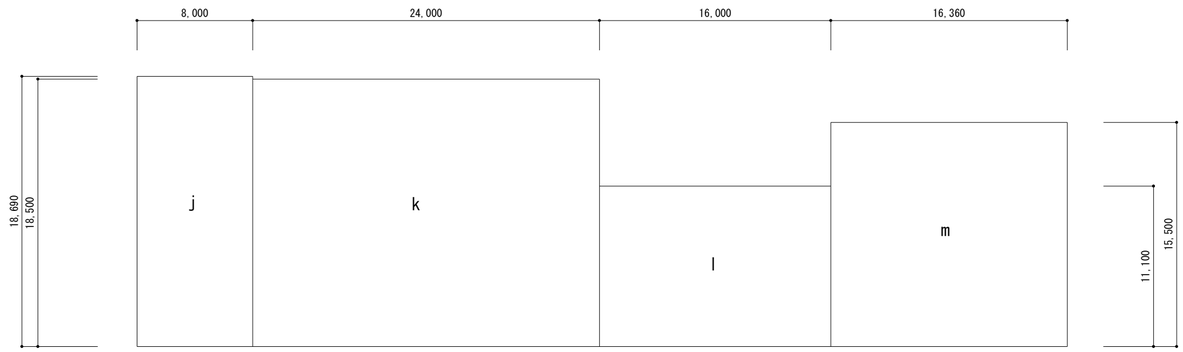


イ	1.50	x	2.50	=	3.75
			計		3.75
別棟　ﾎﾟﾝﾌﾟ室　床面積					3.75 m2
別棟　ﾎﾟﾝﾌﾟ室　建築面積					3.75 m2



２階　求積図　　S=1/300

g	8.00	x	18.69	=	149.52
h	24.00	x	18.50	=	444.00
i	32.36	x	15.50	=	501.58
			計		1,095.10
		２階床面積			1,095.10 m2



３階　求積図　　S=1/300

j	8.00	x	18.69	=	149.52
k	24.00	x	18.50	=	444.00
l	16.00	x	11.10	=	177.60
m	16.36	x	15.50	=	253.58
			計		1,024.70
		３階床面積			1,024.70 m2

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)					建物求積図	2017.06	S=1/300 (A2)	A－１１
ORIGINAL NO								

外部仕上表

部　位	仕　　上	部　位	仕　　上
屋根	屋上部（3階部分、平屋部分）：合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水断熱接着工法　SI-F2　非歩行点検可ﾀｲﾌﾟ　断熱材：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=30	断熱材	屋上ｽﾗﾌﾞ裏：現場吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ A種1　t=35
	屋上部　塔屋部分：合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水断熱接着工法　SI-F2　非歩行点検可ﾀｲﾌﾟ　断熱材:硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ t=30　ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾂﾊﾞ付 50φ		外壁面裏（除く柱型、梁型）：現場吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ A種1 t=25
	設備機器架台、ハト小屋、目隠しﾙｰﾊﾞｰ、屋上ﾏﾝﾎｰﾙ　ﾙｰﾌﾌﾞﾚｲﾝ：鋳鉄製 100φ　塔屋:横型　3階屋上:縦型　平屋屋上:横型　ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ：縦型中継ぎ　平屋屋上庇：縦型		１階土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下：押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ 3種b　t=30
			１階床ｽﾗﾌﾞ下：押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ 2種b　t=30
笠木	ｱﾙﾐ製大型ﾃﾞｻﾞｲﾝ笠木 W=250　塔屋部分：ｱﾙﾐ製笠木 W=250　平屋部分：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放金ｺﾃ押エ　ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 X-2工法		
		ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ	手摺：鋼製ﾊﾟｲﾌﾟ　溶融亜鉛ﾒｯｷ処理　DP塗　床：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押エ　防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5　水勾配　笠木、溝、ﾄﾞﾚｲﾝ廻り　ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 X-2工法
縦樋	ｱﾙﾐ製縦樋　ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽﾀｲﾌﾟ　径100　支持間隔 4,000　一部化粧柱内納部:躯体凹部取付金具　支持間隔 3,000以内		化粧柱：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　防水形複層塗材Ｅ　ゆず肌模様　上塗材:フッ素樹脂塗装
			救助袋：垂直降下型
軒裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　砂壁状:外装薄塗材Ｅ　玄関庇　軒裏　ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　t=8.0　目透貼　DP塗　一部ｱﾙﾐ板 t=1.5 曲げ加工		
		耐火建築物	本建物は、耐火建築物とする。屋根、階段：30分間　外壁、柱、梁、床、間仕切壁：1時間の耐火構造とする。　延焼のおそれのある部分の外装建具は、防火設備とする。
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　防水形複層塗材Ｅ　ゆず肌模様　上塗材:フッ素樹脂塗装	防火区画	乾式間仕切壁：LGS W=100　下地　GB-F t=12.5　両面二重貼　１H間仕切壁耐火　FP060NP-0174　湿式間仕切壁：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　t=150　1H耐火　告示第1399号
		（面積区画、竪穴区画）	開口部：ｽﾁｰﾙ製耐熱強化ｶﾞﾗｽ入り建具　特定防火設備　認定番号　EA-0120　常時開放式特定防火設備：煙感知器連動自動閉鎖式　PS等：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄによる、水平区画とする。
開口部	ｱﾙﾐｻｯｼｭ　見込70、100　表面処理:B-2種		設備管、設備風道等が区画を貫通する場合：令112条15,16号に適した処理、構造とする事。
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　防水形複層塗材Ｅ　ゆず肌模様　上塗材:フッ素樹脂塗装	防火上主要な間仕切壁	乾式間仕切壁：LGS W=100　下地　GB-F t=12.5　両面二重貼　１H間仕切壁耐火　FP060NP-0174　湿式間仕切壁：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　t=150　1H耐火　告示第1399号
			建具は、不燃材（ｽﾁｰﾙ製）を使用とする。　設備管、設備風道等が区画を貫通する場合：令112条15,16号に適した処理、構造とする事。
庇	ｺﾝｸﾘｰﾄ製庇：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押エ　ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 X-2工法　軒裏　ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修　砂壁状:外装薄塗材Ｅ		
	金属製庇：ｱﾙﾐ製軽量庇　ｻﾎﾞｰﾄﾎﾞｰﾙ付　先端軒樋ﾀｲﾌﾟ	外構	排水溝 W=300　無蓋ﾀｲﾌﾟ、玄関前：足洗い場、会議室北：棒状石敷並べ、ﾎﾞｯｸﾌﾞ室付受水槽、配膳室西：荷受用ﾃﾞｯｷ　建物周囲犬走り：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ
地下ピット、消火水槽	土接壁：ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 X-2工法　保護緩衝材:補強ｸﾛｽ付ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ発泡材 t=5.0		

内部仕上表

階数	室　名	内装制限	床高（FLｺﾘ）		床		巾木		腰（FL+800以下の部分）		壁		天井		回り縁	カーテン ブラインド ボックス	天井高	家具	備考
			下地	仕上	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上					
１階	昇降口	準不燃	-160	-50	透水性ｺﾝｸﾘｰﾄ t=100	透水性天然石樹脂舗装 t=10	ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上	50	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗		GB-D t=9.5	ｱﾙﾐ製十手型		3,000		床見切、案内板、掲示板
	児童用玄関	準不燃	-10	± 0	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押エ ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ｽﾛｰﾌﾟ：防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 ﾌﾗｯﾄ：ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ｽﾛｰﾌﾟ：ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上 ﾌﾗｯﾄ：木製 杉材	50～100 100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗		GB-D t=9.5	ｱﾙﾐ製十手型		2,950	傘立て、下駄箱	ｽﾛｰﾌﾟ、床目地棒
	教師・来客用玄関	準不燃	-10	± 0	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押エ ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ｽﾛｰﾌﾟ：防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 ﾌﾗｯﾄ：ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ｽﾛｰﾌﾟ：ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上 ﾌﾗｯﾄ：木製 杉材	50～100 100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗		GB-D t=9.5	ｱﾙﾐ製十手型		2,950	傘立て、下駄箱 飾り棚	ｽﾛｰﾌﾟ、床目地棒
	廊下	準不燃	-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型		2,950 2,800		手洗、化粧鏡、床下点検口、消火栓BOX 窓用手摺
	職員室・事務室		-150	± 0	鋼製OAﾌﾛｱｰｼｽﾃﾑ	置敷木製ｶｰﾍﾟｯﾄ t=6ｸｯｼｮﾝ付	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	白板、手洗、化粧鏡
	印刷室		-150	± 0	鋼製OAﾌﾛｱｰｼｽﾃﾑ	置敷木製ｶｰﾍﾟｯﾄ t=6ｸｯｼｮﾝ付	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型		2,950	収納家具	
	校長室		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	GB-R t=9.5	DR t=12	塩ビ製十手型	ﾚｰｽ、遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	手洗(家具内)
	放送室	不燃材	-150	± 0	鋼製OAﾌﾛｱｰｼｽﾃﾑ	置敷木製ｶｰﾍﾟｯﾄ t=6ｸｯｼｮﾝ付	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ t=25 本実加工 表面　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼	GB-R t=12.5	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ t=25 本実加工 表面　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼	GB-R t=12.5	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ t=25 本実加工 表面　ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼			2,700	収納家具	
	配膳室		-10	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ｴﾎﾟｷｼ系塗床	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	ﾗﾜﾝ合板 t=12 (H=FL+1200)	ｽﾃﾝﾚｽ板 t=0.4 接着貼	GB-R t=12.5	EP塗	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700	流し台、収納家具	冷蔵庫、床排水溝
	多目的室		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗	GB-R t=9.5	DR t=12	塩ビ製十手型	暗幕ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ	ｽｸﾘｰﾝ、白板、掲示板、窓用手摺
	多目的室用倉庫		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾗﾜﾝ合板t=12　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	EP塗	GB-R t=12.5	EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型		2,700		
	会議室		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗	GB-R t=9.5	DR t=12	塩ビ製十手型	ﾚｰｽ、暗幕ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950		白板、掲示板
	相談室　(1)　(2)		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗	GB-R t=9.5	DR t=12	塩ビ製十手型	ﾚｰｽ、遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,700		白板、掲示板
	給湯室		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	FK目透貼 t=8	EP塗	FK目透貼 t=8	EP塗	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700	流し台ｾｯﾄ、食器棚 厨房器機	ﾐﾆｷｯﾁﾝ
	休憩室		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	畳敷　t=55	畳寄せ　桧材		GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,700		
	男子職員更衣室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型		2,700		
	女子職員更衣室		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型		2,700		間仕切ｶｰﾃﾝ
	男子職員 WC		-150	± 0	防水下地保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t=100	磁器質ﾀｲﾙ 100角	ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上	100	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		汚垂石、洗面ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡
	女子職員 WC		-150	± 0	防水下地保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t=100	磁器質ﾀｲﾙ 100角	ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上	100	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		洗面ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡
	保健室		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5 流し廻：FK目透貼 t=8	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗 流し廻：EP塗	GB-R t=12.5 流し廻：FK目透貼 t=8	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗 流し廻：EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	ﾚｰｽ、遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	流し台、収納家具	間仕切ｶｰﾃﾝ、掲示板、ｼｬﾜｰUB

特記仕様書

内壁ﾎﾞｰﾄﾞ類の仕様については、耐火建築物としての法定仕様が優先する。

WC床防水は、ｱｽﾌｧﾙﾄ防水密着工法 E-2とし、保護ｺﾝｸﾘｰﾄ　t =100　溶接金網 100ｘ100ｘ3.2とする。　鋼製OAﾌﾛｱｰｼｽﾃﾑは、CSﾌﾛｱ5000N：三洋工業同等品とする。

鋼製床下地は、金属根太ﾀｲﾌﾟとする。　置敷木製ｶｰﾍﾟｯﾄは、天然木製ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ 500ｘ500ｘ6　ｸｯｼｮﾝ付　ﾌﾘｰAXEZ同等品とする。

ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15：ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15　裏張りｸｯｼｮﾝ材 t=3付とする。　※外壁に面しないｺﾝｸﾘｰﾄ面は、GL工法とする。

ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄは、表面柄付材とする。

GB-D t=9.5は、ﾀｲｶﾞｰｽｸｴｱﾄｰﾝD（吉野石膏：同等品）　455ｘ910　とする。

ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ t=25 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼は、ｱｸﾘｱｻｳﾝﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（旭ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽ：同等品）とする。

GB-R　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 不燃（第NM-8619号）
GB-D　化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 準不燃（第QM-9824号）
GB-D不燃　化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 不燃（第NM-8613号）
GB-D不燃　化粧吸音石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 不燃（第NM-0879号）
DR　ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 不燃（第NM-8599号）
FK　ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 不燃（第NM-8578号）
GB-R＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ壁装材料 準不燃（第QM-9415,QM-9416号）
GB-R＋無機質ｸﾛｽ壁装材料 不燃（第NM-9951,NM-9416号）
GB-F　強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 不燃（第NM-8615号）
ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ t=25 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ貼 不燃 NM-2640

合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り　SOP
ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り　CL
ﾌｯ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り　FE
塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り　VE
ｱｸﾘﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り　AE
2液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗り　UE-②
ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り　ASE-②
常温乾燥形ふっ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り　FUE-②
つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り　EP-G
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り　EP
多彩模様塗料塗り　EP-M
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り　EP-T
ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾆｽ塗り　UC
ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り　OS

薄付け仕上塗材内装けい酸質系　内装薄塗材Si
薄付け仕上塗材
外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系　外装薄塗材E
薄付け仕上塗材
内装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系　内装薄塗材E
厚付け仕上塗材　外装ｽﾀﾝﾄﾞ系　外装厚塗材C
厚付け仕上塗材
外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系　外装厚塗材E
複層仕上塗材　けい酸質系　複層塗材Si
複層仕上塗材　ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系　複層塗材CE
複層仕上塗材
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系　複層塗材E
複層仕上塗材
反応硬化形合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系　複層塗材RE
防水形複層仕上塗材
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系　防水形複層塗材E

耐候性塗料　DP
ﾏｽﾁｯｸ塗材 A種　ﾏｽﾁｯｸA
〃　B種　ﾏｽﾁｯｸB
〃　C種　ﾏｽﾁｯｸC
軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄﾊﾟﾈﾙ　ALC
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ　GB-R
吸音用穴あき石こうﾎﾞｰﾄﾞ　GB-P
化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（ﾗﾝﾀﾞﾑﾊﾟﾀｰﾝ模様）　GB-D
化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（木目模様）　GB-D (W)
ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石こうﾎﾞｰﾄﾞ　GB-S
ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板　DR
無石綿ｾﾒﾝﾄけい酸カルシウム板　FK
吸音用穴あき無石綿ｾﾒﾝﾄけい酸カルシウム板　FK-P

ｸﾞﾗｽﾁｪﾝﾌｫｰﾑ保温板　PF
管 類
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　VP
遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管　HP

幅　W,w
長さ　L,l
高さ　H,h
直径　d,φ,D
半径　R,r
縮尺　S
センターライン　℄,CL
開隅　#
厚さ　t
プレート　PL,℄
フラットバー　FB
スチール（鉄製）St
アルミ　AL
ステンレス　SUS

TITLE	ARTICLE	REVISION		管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)						仕上表　1	2017.06		A －１２
ORIGINAL　NO									

内部仕上表

階数	室　名	内装制限	床高		床		巾木		腰		壁		天井		回り縁	カーテン ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	天井高	家具	備考
			下地	仕上	下地	仕上	仕上	高さ	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上					
1階	特別支援教室　(1)		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	ﾚｰｽ、遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	白板、掲示板
	普通教室		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	白板、掲示板
	男子トイレ、前室		-150	± 0	防水下地保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t-100	磁器質ﾀｲﾙ 100角 前室　ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上	100	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		床排水溝、汚垂石、洗面ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡
	女子トイレ、前室		-150	± 0	防水下地保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t-100	磁器質ﾀｲﾙ 100角 前室　ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上	100	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		床排水溝、洗面ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡
	多目的トイレ		-150	± 0	鋼製床下地　ﾗﾜﾝ合板 t=12	ﾗﾜﾝ合板 t=12　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		化粧鏡
	階段下倉庫		-10	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押ｴ	EP塗	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押ｴ	EP塗	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修	EP塗	塩ビ製十手型				
	地下ピット			± 0		ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ				ｺﾝｸﾘｰﾄ打放		ｺﾝｸﾘｰﾄ打放		断熱材表し					排水釜場、排水溝、ﾀﾗｯﾌﾟ
	消火水槽			± 0	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ 水勾配1/75	ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水								ｺﾝｸﾘｰﾄ打放					排水釜場、排水溝、ﾀﾗｯﾌﾟ
2階	廊下	準不燃	-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型		2,950 2,800		手洗、化粧鏡、消火栓BOX 、窓用手摺
	図書室		-30	± 0 +40	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15 琉球畳敷 t=55	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき　EP塗	GB-R t=9.5	DR t=12	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具、ｶｳﾝﾀｰ	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ、白板、掲示板
	司書室	不燃材	-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=9.5	DR t=12	塩ビ製十手型		2,700	収納家具	
	コンピューター室		-70	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10 樹脂製置敷OAｼｽﾃﾑ	置敷木製ｶｰﾍﾟｯﾄ t=6 ｸｯｼｮﾝ付	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	GB-R t=12.5	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	暗幕ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	ｽｸﾘｰﾝ、白板、掲示板
	図工室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具、流し台	黒板、掲示板
	図工準備室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具、流し台	
	男子、女子児童更衣室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	目隠しｶｰﾃﾝ 、窓用手摺
	特別支援教室 (2)　(3)		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	ﾚｰｽ、遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	白板、掲示板
	普通教室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	白板、掲示板
	配膳室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	ﾗﾜﾝ合板 t=12　(H=FL+850)	ｽﾃﾝﾚｽ板 t=0.4 接着貼	GB-R t=12.5	EP塗	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		ｺｰﾅｰ補強
	教材室（資料）		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,700	収納家具	
	倉庫		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,700	収納家具	
	男子トイレ、前室		-150	± 0	防水下地保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t=100	磁器質ﾀｲﾙ100角 前室　ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上	100	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		床排水溝、汚垂石、洗面ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡
	女子トイレ、前室		-150	± 0	防水下地保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t=100	磁器質ﾀｲﾙ100角 前室　ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上	100	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		床排水溝　洗面ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡
	多目的トイレ		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		化粧鏡
3階	廊下	準不燃	-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型		2,950 2,800		手洗、化粧鏡、消火栓BOX 天井収納式梯子 、窓用手摺
	理科室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	暗幕ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	ｽｸﾘｰﾝ、ｽﾗｲﾄﾞ黒板、掲示板
	理科準備室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	暗幕ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	
	音楽室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	上下式白板、壁内収納鏡、
	音楽準備室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	
	家庭調理室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具、流し台	白板、掲示板 、窓用手摺
	家庭調理準備室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具、流し台	窓用手摺
	特別支援教室 (4)		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	ﾚｰｽ、遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	白板、掲示板
	普通教室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	木製　杉材	100	GB-R t=12.5	杉小巾板本実目透張 t=12 OS、CL塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	白板、掲示板
	配膳室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	ﾗﾜﾝ合板 t=12　(H=FL+850)	ｽﾃﾝﾚｽ板 t=0.4 接着貼	GB-R t=12.5	EP塗	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		ｺｰﾅｰ補強
	教材室		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗	GB-R t=12.5	寒冷紗ﾊﾟﾃしごき EP塗		GB-D t=9.5	塩ビ製十手型	遮光ｶｰﾃﾝ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	2,950	収納家具	
	男子トイレ、前室		-150	± 0	防水下地保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t=100	磁器質ﾀｲﾙ100角 前室　ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上	100	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		床排水溝、汚垂石　洗面ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡
	女子トイレ、前室		-150	± 0	防水下地保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t=100	磁器質ﾀｲﾙ100角 前室　ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ合板 t=15	ｽﾃﾝﾚｽ板 HL仕上	100	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		床排水溝　洗面ｶｳﾝﾀｰ、化粧鏡
	多目的トイレ		-30	± 0	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t=10	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木	60	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=8	抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t=3	FK t=6 目透貼	EP塗	塩ビ製十手型		2,700		化粧鏡
共通	Ａ階段	準不燃				木積層材 t=36	木製　杉材	60						最上部：GB-D t=9.5	塩ビ製十手型				壁付手摺
	Ｂ階段	準不燃				木積層材 t=36	木製　杉材	60						最上部：GB-D t=9.5	塩ビ製十手型				壁付手摺
	ＥＬＶ昇降路				ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ	ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水								ｺﾝｸﾘｰﾄ打放					
	ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ（ＰＳ）				各階床面：ﾓﾙﾀﾙ詰									ｺﾝｸﾘｰﾄ打放					

特記仕様書

内壁ﾎﾞｰﾄﾞ類の仕様については、耐火建築物としての法定仕様が優先する。

※外壁に面しないｺﾝｸﾘｰﾄ面は、GL工法とする。

樹脂製置敷OAｼｽﾃﾑは、ﾌﾘｰAXEZ・40 LIGHT　　置敷木製ｶｰﾍﾟｯﾄは、天然木製ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ 500×500×6 ｸｯｼｮﾝ付　ﾌﾘｰAXEZ同等品とする。

GB－R　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 不燃（第NM-8619号）
GB－D　化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 準不燃（第QM-9824号）
GB－D不燃　化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 不燃（第NM-8613号）
FK　ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 不燃（第NM-8578号）
GB－R＋ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ壁装材料 準不燃（第QM-9415,QM-9416号）
GB－R＋無機質ｸﾛｽ壁装材料 不燃（第NM-9951,NM-9416号）

合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り	SOP
ｸﾘﾔﾗｯﾄｰ塗り	CL
ﾌﾀﾙ酸樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り	FE
塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り	VE
ｱｸﾘﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り	AE
2液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗り	UE-②
ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り	ASE-②
常温乾燥形ふっ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り	FUE-②
つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	EP-G
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	EP
多彩模様塗料塗り	EP-M
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り	EP-T
ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾆｽ塗り	UC
ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り	OS

薄付け仕上塗材内装けい酸質系	内装薄塗材Si
薄付け仕上塗材 外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系	外装薄塗材E
薄付け仕上塗材 内装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系	内装薄塗材E
厚付け仕上塗材　外装ｾﾒﾝﾄ系	外装厚塗材C
厚付け仕上塗材 外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系	外装厚塗材E
複層仕上塗材　けい酸質系	複層塗材Si
複層仕上塗材　ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系	複層塗材CE
複層仕上塗材 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系	複層塗材E
複層仕上塗材 反応硬化形合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系	複層塗材RE
防水形複層仕上塗材 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系	防水形複層塗材E

複層仕上塗材合成樹脂溶液系	複層塗材RS
ﾏｽﾃｯｸ塗材 A種 〃 B種 〃 C種	ﾏｽﾃｯｸA ﾏｽﾃｯｸB ﾏｽﾃｯｸC
軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄﾊﾟﾈﾙ	ALC
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB－R
吸音用穴あき石こうﾎﾞｰﾄﾞ	GB－P
化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ （ﾗﾝﾀﾞﾑ模様）	GB－D
化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ （木目模様）	GB－D (W)
ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石こうﾎﾞｰﾄﾞ	GB－S
ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	DR
無石綿ｹｲｶﾙｼｳﾑ板	FK
吸音用穴あき無石綿ｹｲｶﾙ ｹｲｶﾙ酸ｶﾙｼｳﾑ板	FK-P

ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	PF	
管 類 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	VP	
遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	HP	

幅	W,w
長さ	L,l
高さ	H,h
直径	d,φ,D
半径	R,r
縮尺	S
ｾﾝﾀｰﾗｲﾝ	℄, CL
間隔	@
厚さ	t
ﾌﾟﾚｰﾄ	PL,℄
ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ	FB
ｽﾁｰﾙ（鉄製）	St
ｱﾙﾐ	AL
ｽﾃﾝﾚｽ	SUS

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
（仮称）長田・新居小学校建設工事（建築主体工事）					仕上表_2	2017.06		A－13
ORIGINAL NO								

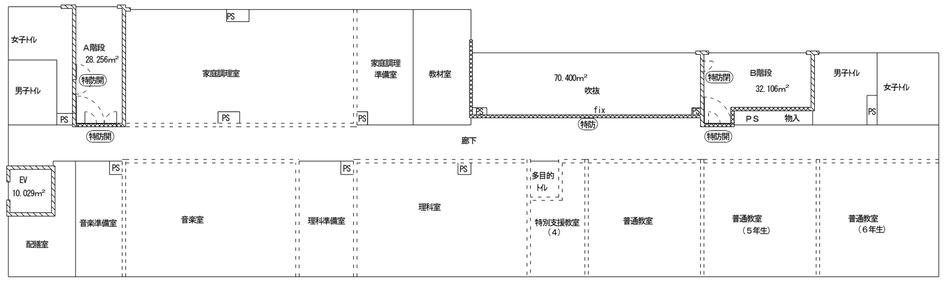
階数	室名	居室	床面積	計算式	係数	L	有効採光面積			係数	V	有効換気面積			係数	S	有効排煙面積			備考
１階	昇降口	非居室	84.000	12.00 x 7.00																
	職員室､事務室､印刷	居室	149.500	16.50 x 8.00 ＋ 3.50 x 5.00	1/20	7.475	1.69x1.74x10	=	29.40	1/20	7.475	1.69ｘ1.74x1/2x10	=	14.7	1/50	2.990	1.69x1/2x0.69x10	=	5.83	
	放送室	居室	10.500	3.50 x 3.00	1/20	0.525	非常用照明			20ｘ10.5/10	21.000	機械換気 天井扇：FV-1-5　50m3/hｘ40pa	=	50.00	1/50	0.210	内装制限			
	校長室	居室	32.000	4.00 x 8.00	1/20	1.600	1.69x1.74x2	=	5.88	1/20	1.600	1.69x1.74x1/2x2	=	2.94	1/50	0.640	1.69x1/2x0.69x2	=	1.16	
	配膳室	居室	52.574	4.895 x 8.00 ＋ 3.105 x 4.32	1/20	2.629	0.50x1.66x3x3（補正）	=	7.47	1/20	2.629	0.50x1.66x3＋08x2.0	=	4.09	1/50	1.051	0.50x0.76x3	=	1.14	
	職員用　WWC	非居室	16.790	4.55 x 3.69																
	職員用　MWC	非居室	15.075	3.35 x 4.50																
	男子更衣室	非居室	11.463	3.45 x 2.055 + 1.725 x 2.535																
	女子更衣室	非居室	10.840	2.71 x 4.00																
	休憩室	居室	17.161	4.00 x 4.00 + 1.29 x 0.90	1/20	0.860	1.70x1.56	=	2.65	1/20	0.860	1.70x1.56x1/2	=	1.32	1/50	0.35	1.7x1/2x0.76	=	0.64	
	給湯室	非居室	6.250	2.50 x 2.50																
	多目的室	居室（教室）	140.000	17.50 x 8.00	1/5	28.000	1.6x1.79x8x3(補正)	=	68.73	1/20	7.000	1.6x1.79x1/2x8	=	11.45	1/50	2.800	1.6x0.74x1/2x8	=	4.73	
	多目的室用倉庫	非居室	13.750	2.50 x 5.50																
	会議室	居室	50.000	10.00 x 5.00	1/20	2.500	1.69x2.79x4	=	18.86	1/20	2.500	1.69x2.79x1/2x4	=	9.43	1/50	1.000	1.69x0.74x1/2x4	=	2.50	
	相談室（１）	居室	12.000	3.00 x 4.00	1/20	0.600	2.78x1.79	=	4.97	1/20	0.600	1.8x1.79x1/2	=	1.61	1/50	0.240	1.8x0.74x1/2	=	0.66	
	相談室（２）	居室	12.000	3.00 x 4.00	1/20	0.600	2.38x1.79	=	4.26	1/20	0.600	1.8x1.79x1/2	=	1.61	1/50	0.240	1.8x0.74x1/2	=	0.66	
	保健室	居室	64.000	8.00 x 8.00	1/20	3.200	1.6x1.74x4	=	11.13	1/20	3.200	1.6x1.74x1/2x4	=	5.56	1/50	1.280	1.6x0.69xx1/2x4	=	2.20	
	特別支援教室（１）	居室（教室）	26.280	4.00 x 5.40 ＋ 1.80 x 2.60	1/5	5.256	1.69x1.74x2	=	5.88	1/20	1.314	1.69x1.74x1/2x2	=	2.94	1/50	0.526	1.69x1/2x0.69x2	=	1.16	
	多目的　WC	非居室	5.720	2.20 x 2.60																
	男子ﾄｲﾚ　東	非居室	22.300	4.46 x 5.00																
	女子ﾄｲﾚ　東	非居室	21.300	4.26 x 5.00																
	普通教室　１年生	居室（教室）	64.000	8.00 x 8.00	1/5	12.800	1.69x1.74x4x3(補正)	=	34.8	1/20	3.200	1.69x1.74x1/2x3	=	4.41	1/50	1.280	1.69x1/2x0.69x4	=	2.33	
	普通教室　２年生	居室（教室）	66.880	8.36 x 8.00	1/5	13.376	1.69x1.74x4x3(補正)	=	34.8	1/20	3.344	1.69x1.74x1/2x3	=	4.41	1/50	1.338	1.69x1/2x0.69x4	=	2.33	
	ＥＬＶ	非居室	10.029	3.105 x 3.23																

階数	室名	居室	床面積	計算式	係数	L	有効採光面積			係数	V	有効換気面積			係数	S	有効排煙面積			備考
２階	普通教室　３年生	居室（教室）	64.000	8.00 x 8.00	1/5	12.800	1.69x1.74x4x3(補正)	=	35.28	1/20	3.200	1.69x1.74x1/2x4	=	5.88	1/50	1.280	1.69x1/2x0.69x4	=	2.33	
	普通教室　４年生	居室（教室）	66.880	8.36 x 8.00	1/5	13.376	1.69x1.74x4x3(補正)	=	35.28	1/20	3.344	1.69x1.74x1/2x4	=	5.88	1/50	1.338	1.69x1/2x0.69x4	=	2.33	
	普通教室	居室（教室）	64.000	8.00 x 8.00	1/5	12.800	1.69x1.74x4x3(補正)	=	35.28	1/20	3.200	1.69x1.74x1/2x4	=	5.88	1/50	1.280	1.69x1/2x0.69x4	=	2.33	
	特別支援教室（２）	居室（教室）	32.000	4.00 x 8.00	1/5	6.400	1.69x1.74x2x3(補正)	=	17.64	1/20	1.600	1.69x1.74x1/2x2	=	2.94	1/50	0.640	1.69x1/2x0.69x2	=	1.16	
	特別支援教室（３）	居室（教室）	26.280	4.00 x 5.40 ＋ 1.80 x 2.60	1/5	5.256	1.69x1.74x2x3(補正)	=	17.64	1/20	1.314	1.69x1.74x1/2x2	=	2.94	1/50	0.526	1.69x1/2x0.69x2	=	1.16	
	多目的 WC	非居室	5.720	2.20 x 2.60																
	男子ﾄｲﾚ　東	非居室	22.300	4.46 x 5.00																
	女子ﾄｲﾚ　東	非居室	21.300	4.26 x 5.00																
	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ室	居室（教室）	96.000	12.00 x 8.00	1/5	19.200	1.69x1.74x6x3(補正)	=	52.93	1/20	4.800	1.69x1.74x1/2x6	=	8.82	1/50	1.920	1.69x1/2x0.69x6	=	3.49	
	図工室	居室（教室）	96.000	12.00 x 8.00	1/5	19.200	1.69x1.74x6x3(補正)	=	52.93	1/20	4.800	1.69x1.74x1/2x6	=	8.82	1/50	1.920	1.69x1/2x0.69x6	=	3.49	
	図工準備室	居室	26.800	3.35 x 8.00	1/20	1.340	2.6x1.79	=	4.65	1/20	1.340	1.7x1.79x1/2	=	1.52	1/50	0.536	1.7x1/2x0.74	=	0.62	
	配膳室	居室	25.774	4.65 x 4.32 ＋ 1.545 x 3.68	1/20	1.289	0.55x1.66x3	=	2.73	1/20	1.289	0.55x1.66x3	=	2.73	1/50	0.515	0.55x0.76x3	=	1.25	
	図書室	居室（教室）	118.400	4.00 x 8.00 + 16.00 x 4.40 + 4.00 x 4.00	1/5	23.680	1.69x1.79x12	=	36.30	1/20 1/20 合計	5.920 0.800 6.720	1.69x1.79x1/2x12	=	18.15	1/50 1/50 合計	2.368 0.32 2.688	1.69x0.74x1/2x12	=	7.50	間仕切壁上部開放に よりV,Sは一室扱い
	司書室	居室	16.000	4.00 x 4.00	1/20	0.800	非常用照明による													
	児童更衣室　男子	非居室	32.000	4.00 x 8.00																
	児童更衣室　女子	非居室	32.000	4.00 x 8.00																
	教材・資料室	非居室	32.000	4.00 x 8.00																
	倉庫	非居室	32.000	4.00 x 8.00																
	男子ﾄｲﾚ　西	非居室	15.075	3.35 x 4.50																
	女子ﾄｲﾚ　西	非居室	16.790	4.55 x 3.69																
	ＥＬＶ	非居室	10.029	3.105 x 3.23																

階数	室名	居室	床面積	計算式	係数	L	有効採光面積			係数	V	有効換気面積			係数	S	有効排煙面積			備考
３階	普通教室　５年生	居室（教室）	64.000	8.00 x 8.00	1/5	12.800	1.69x1.85x4x3(補正)	=	37.51	1/20	3.200	1.69x1.85x1/2x4	=	6.25	1/50	1.280	1.69x1/2x0.8x4	=	2.70	
	普通教室　６年生	居室（教室）	66.880	8.36 x 8.00	1/5	13.376	1.69x1.85x4x3(補正)	=	37.51	1/20	3.344	1.69x1.85x1/2x4	=	6.25	1/50	1.338	1.69x1/2x0.8x4	=	2.70	
	普通教室	居室（教室）	64.000	8.00 x 8.00	1/5	12.800	1.69x1.85x4x3(補正)	=	37.51	1/20	3.200	1.69x1.85x1/2x4	=	6.25	1/50	1.280	1.69x1/2x0.8x4	=	2.70	
	特別支援教室（４）	居室（教室）	26.280	4.00 x 5.40 ＋ 1.80 x 2.60	1/5	5.256	1.69x1.85x2	=	6.25	1/20	1.314	1.69x1.85x1/2x2	=	3.12	1/50	0.526	1.69x1/2x0.8x2	=	1.35	
	多目的 WC	非居室	5.720	2.20 x 2.60																
	男子ﾄｲﾚ　東	非居室	22.300	4.46 x 5.00																
	女子ﾄｲﾚ　東	非居室	21.300	4.26 x 5.00																
	理科室	居室（教室）	96.000	12.00 x 8.00	1/5	19.200	1.69x1.85x6x3(補正)	=	56.27	1/20	4.800	1.69x1.85x1/2x6	=	9.37	1/50	1.920	1.69x1/2x0.8x6	=	4.05	
	理科準備室	居室	32.000	4.00 x 8.00	1/20	1.600	1.69x1.85x2	=	6.25	1/20	1.600	1.69x1.85x1/2x2	=	3.12	1/50	0.640	1.69x1/2x0.8x2	=	1.35	
	音楽室	居室（教室）	96.000	12.00 x 8.00	1/5	19.200	1.69x1.85x6x3(補正)	=	56.27	1/20	4.800	1.69x1.85x1/2x6	=	9.37	1/50	1.920	1.69x1/2x0.8x6	=	4.05	
	音楽準備室	居室	26.800	3.35 x 8.00	1/20	1.340	2.6x1.85	=	4.81	1/20	1.340	1.7x1.85x1/2	=	1.57	1/50	0.536	1.7x1/2x0.8	=	0.68	
	配膳室	居室	25.774	4.65 x 4.32 ＋ 1.545 x 3.68	1/20	1.289	0.55x1.66x3	=	2.73	1/20	1.289	0.55x1.66x3	=	2.73	1/50	0.515	0.55x0.76x3	=	1.25	
	家庭調理兼用室	居室（教室）	128.000	16.00 x 8.00	1/5	25.600	1.5x1.85x8x3(補正)	=	66.6	1/20	6.400	1.5x1.85x1/2x8	=	11.1	1/50	2.560	1.5x1/2x0.8x8	=	4.80	
	家庭科準備室	居室	32.000	4.00 x 8.00	1/20	1.600	1.69x1.85x2	=	6.25	1/20	1.600	1.69x1.85x1/2x2	=	3.12	1/50	0.640	1.69x1/2x0.8x2	=	1.35	
	教材室	非居室	32.000	4.00 x 8.00																
	男子ﾄｲﾚ　西	非居室	15.075	3.35 x 4.50																
	女子ﾄｲﾚ　西	非居室	16.790	4.55 x 3.69																
	ＥＬＶ	非居室	10.029	3.105 x 3.23																

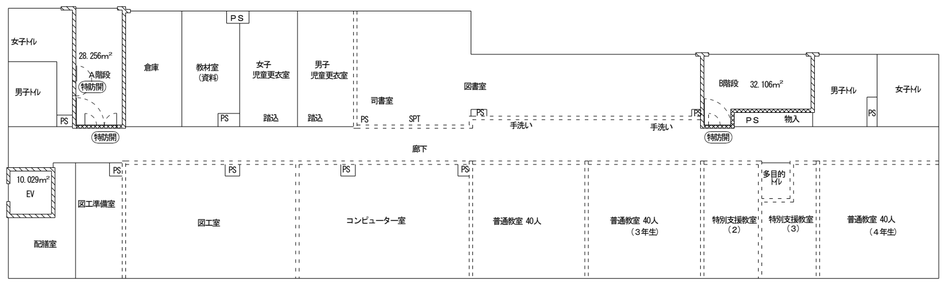
消防無窓　ﾁｪｯｸ				
1階	A=1,184.00	1/30=39.5		
有効開口				
AD-1	(1.02+2.04+2.04)x2.05		=	10.455
AD-2	0.8x2.0		=	1.600
AD-3,-4	1.8x2.0　x2		=	7.200
AW-2,-3	(1.69x1/2x2.0+1.69x1/2x1.0x3)　x5		=	21.125
	合計			40.380
２階	A=1,095.10	1/30=36.6		
有効開口				
AW-11	1.69x1/2x1.0　x12		=	10.140
AW-17,-18,-19	(1.69x1/2x2+1.69x1/2x1.0x3)　x7		=	29.575
	合計			39.715
３階	A=1,027.90	1/30＝34.3		
有効開口				
AW-25,-27	(1.69x1/2x2.0+1.69x1/2x1.0x3)　x5		=	21.125
AW-26	(1.69x1/2x1.0x4)　x2		=	6.760
AW-28	2.25x1/2x1.0		=	1.125
AW-32,-33	1.56x1/2x1.0x4+1.69x1/2x1.0x4		=	6.500
	合計			35.510

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)					法規ﾁｪｯｸ図　1	2017-06		A－ １４
ORIGINAL NO								



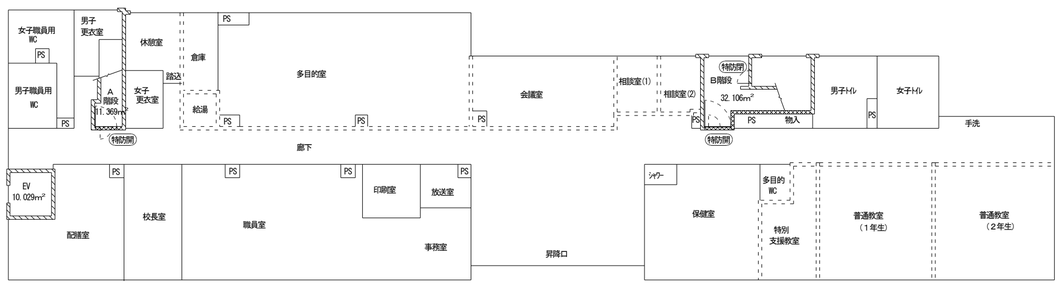
３階床面積	1,095.100m²
Ａ階段	28.256m²
Ｂ階段	32.106m²
EV	10.029m²
吹抜	70.400m²
計	140.791m²
防火区画面積	954.309m²

３階　平面図　　S=1/300



２階床面積	1,095.100m²
Ａ階段	28.256m²
Ｂ階段	32.106m²
EV	10.029m²
計	70.391m²
３階吹抜	70.400m²
防火区画面積	1,095.109m²

２階　平面図　　S=1/300



１階床面積	1,173.700m²
Ａ階段	11.369m²
Ｂ階段	32.106m²
EV	10.029m²
防火区画面積	1,120.196m²

※　本建物の防火区画は、各階ｽﾗﾌﾞによる水平区画とする。　３階、図書室上部の吹抜け部分は、２階の防火区画に含む。

１階　平面図　　S=1/300

防火区画　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　1H耐火

防火区画　LGS W=100下地　GB-F t=12.5　両面二重貼　1H耐火

防火上主要な間仕切壁（令114条2項）　耐火構造　：LSG W=100下地　GB-F t=12.5 両面二重貼　1H耐火　（天井裏ｽﾗﾌﾞまで達する事）

防火上主要な間仕切壁（令114条2項）　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　1H耐火

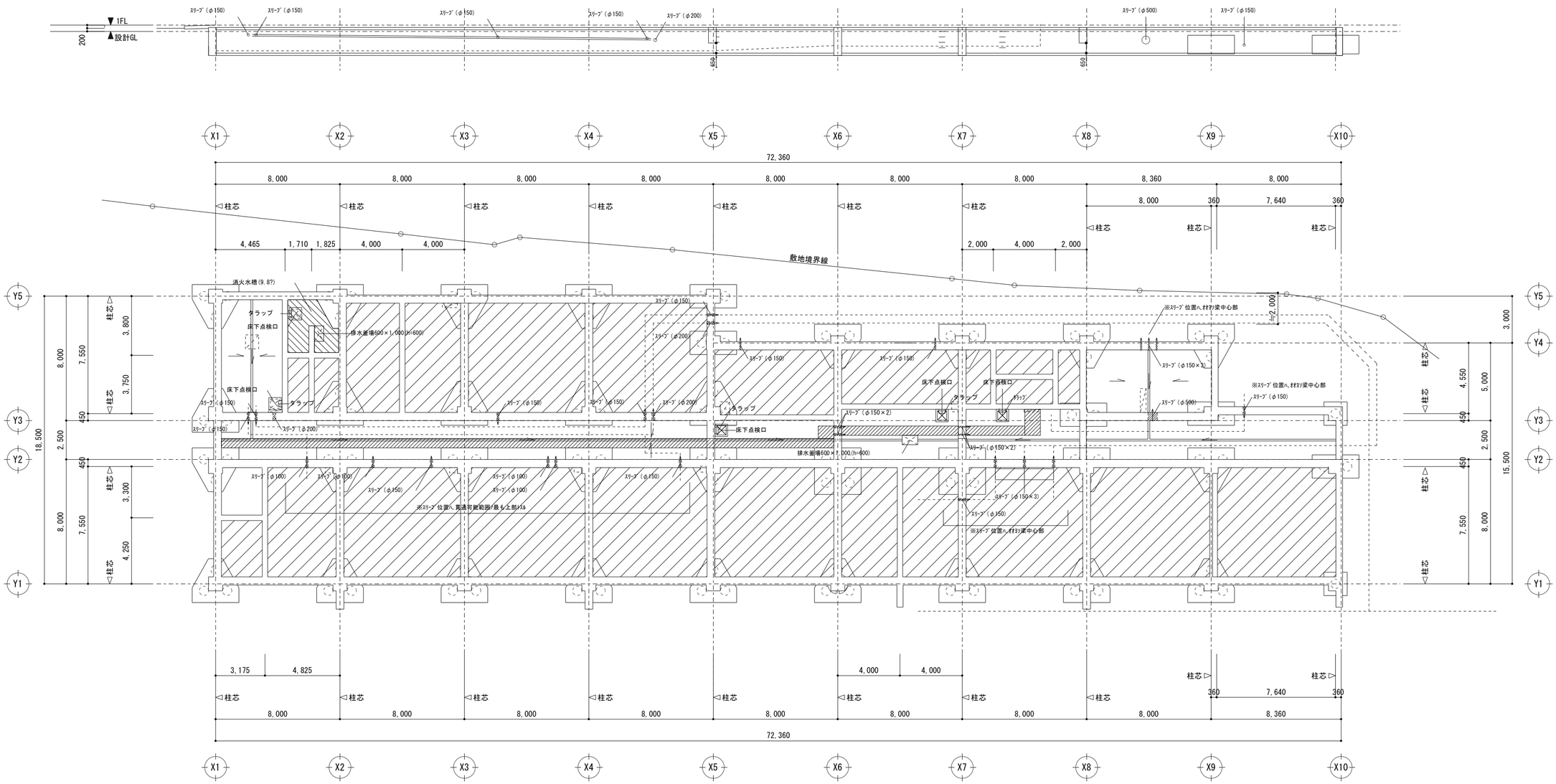
※　防火上主要な間仕切に設置の建具は不燃材使用とする

特防　特定防火設備　（ 認定番号 ： EA－0120 ）　はめ殺し窓

特防閉　特定防火設備　（ 常閉 ）　煙感知器連動自動閉鎖式

特防閉　特定防火設備　（ 常閉 ）

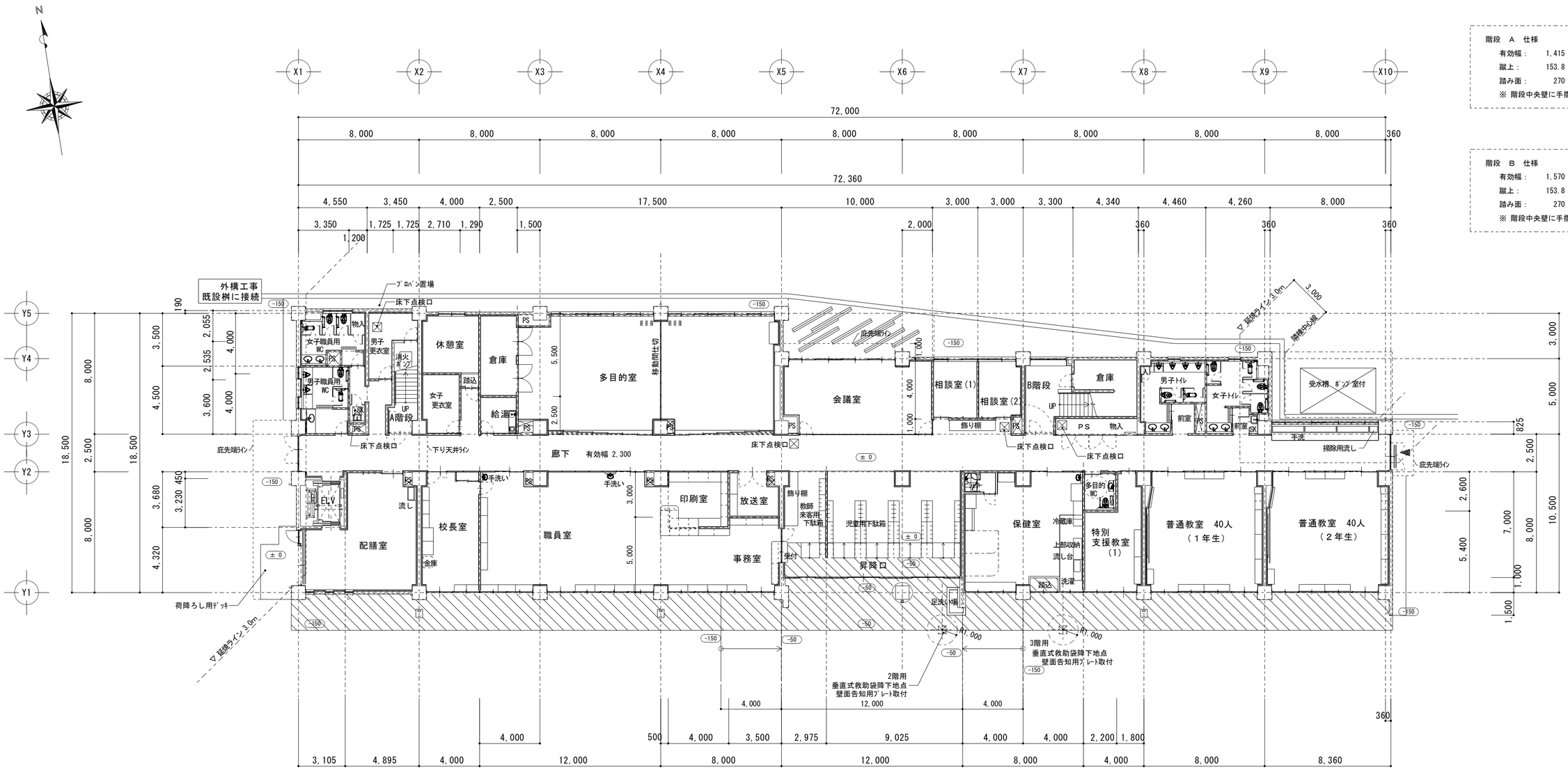
TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)					法規ﾁｪｯｸ図　2	2017.06	S=1/300 (A3)	A－１５
ORIGINAL NO								



ピット平面図　　A2:S=1/200

☒	…床ハッチ位置（SUS仕上材充填600mm角型防臭タイプ）
⊠	…PS位置
⊔	…ｽﾃﾝﾚｽﾀﾗｯﾌﾟ 22Φ @400　(SUS304)既製品
- - - - - -	…機械設備排水管
▨	…電気設備ケーブルラック
= = = = = =	…通水連通管(VP-100Φ半割)
▨	…防火水槽
▨	…埋戻し
集水溝・カマ場内ハ全テ金ゴテ押エトスル	

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)					ピット階平面図	2017.06	(A2) 1/200	A－16
ORIGINAL NO								



階段 A 仕様 折返し階段
有効幅： 1,415
蹴上： 153.8
踏み面： 270
※ 階段中央壁に手摺取付

階段 B 仕様 折返し階段
有効幅： 1,570
蹴上： 153.8
踏み面： 270
※ 階段中央壁に手摺取付

建物平均地盤高さ算出

建物周長 (72.36 + 18.69) ×2＝182.1

凸部 (12.0 + 20.0) × 0.1 × 1/2 ＝1.6
4.32 × 0.15 ＝0.648

1.6 + 0.648 ＝2.248 ／182.1 ＝ 0.0123448
－0.15 + 0.0123448 ＝ －0.1376552 ∴ -137

平均GL ＝ FL-137

1階 平面図 S=1/200

排水システム透水性コンクリート舗装
（表層 t=12mm+基礎 t=200mm＋改良路床 t=300）

のべ石埋込み犬走り（のべ石：既設利用）

(-150) レベル表示 建物 FL＝± 0

床下点検口 ﾌﾛｱｰﾊｯﾁ 600角 ﾓﾙﾀﾙ充填用 密閉型（防水、防臭）ｽﾃﾝﾚｽ製
5か所

TITLE	ARTICLE	REVISION	管理建築士	DESIGNER	NAME	DATE	SCALE	DRAWING NO
(仮称)長田・新居小学校建設工事(建築主体工事)					1階 平面図	2017.06	S=1/200 (A2)	A－17
ORIGINAL NO								